

新篇武藏風土記稿

橘樹郡 卷九之十一

二十

和書門			
二二七三九	一三四	八〇册	類
號	函	架	

内閣文庫	和
二二七三九	八〇
一三四	架

内閣文庫	
番號	和 22739
冊數	80 (20)
函號	267 79



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



新編武藏風土記稿卷之六十六目錄

橘樹郡之九

神奈川領

南綱島村

大曾根村

上駒岡村

下駒岡村

上末吉村

鶴見村

内一一二九號

北綱島村

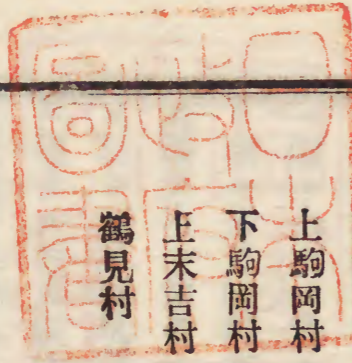
樽村

中駒岡村

箕輪村

下末吉村

生麥村



新編武藏風土記稿

橘樹郡之九

南網島村ハ郡ノ西ノ方都筑郡ノ境ニアリ古ハ小机ノ庄ト唱ヘシカ今ハ用ヒスト云
小田原所領役帳ニ小机ノ内トシルセリ證スヘシ江戸日本橋ヨリ行程五里民家九十
四軒東ハ上中駒岡及ヒ南加瀬村ノ三村ニ隣リ西ハ太尾村及都筑郡吉田新羽ノ三村
ニ屬タル村々四十箇村其内東海道往來ノカ、レルハ保土ケ谷宿及鶴見生麥等ノ村
々ナリ

新編武藏風土記稿卷之六十六

橘樹郡之九

神奈川領

神奈川領ハ郡ノ中央ヨリ南ノ方ニアリテ西ノ方都筑郡ニマダカレリ地形ハ平土及
ヒ山丘ト半セリ其境ノ様ハ東ヨリ西ヘハ狹ク南北ヘハ長シ大抵東西ヘ一里餘南北

小机ノ領

モヨサマニカ、レト凡ソ三里半ニアマレリ東邊ハチヘテ海ニ接

シ南ハ久良岐郡本牧領及ヒ相模國鎌倉郡山内庄ニ隣ル但鎌倉郡ニ接スル村々ハ都

筑郡ノ内ニ領名ノ波及スルモノニテ本郡ノ隣レルニハアラス西ノ方マテ若干領中

ノ村アリ又都筑郡小机領ニ接スル所モ少カラス北ハ川崎領及稻毛領ニ交レリ領内

ニ屬タル村々四十箇村其内東海道往來ノカ、レルハ保土ケ谷宿及鶴見生麥等ノ村

々ナリ

南網島村

南網島村ハ郡ノ西ノ方都筑郡ノ境ニアリ古ハ小机ノ庄ト唱ヘシカ今ハ用ヒスト云
小田原所領役帳ニ小机ノ内トシルセリ證スヘシ江戸日本橋ヨリ行程五里民家九十
四軒東ハ上中駒岡及ヒ南加瀬村ノ三村ニ隣リ西ハ太尾村及都筑郡吉田新羽ノ三村

ニツ、キ南ハ樽大曾根ノ二村ニサカロ北ノ方ハ北綱島箕輪及都筑郡高田ノ三村ニ接ス東西十五町南北五町許田畑相半セリサレト北綱島ノ地ト犬牙シタレハコノ疆域ノ内ニモ北綱島ノ地多ク交ハレリ地形北ノ方ニハ小山ツラナリテ南ノ方ハ平地ナリ水損ノ患多シ當所永祿ノ頃ハ北條左衛門佐カ知行セシコト役帳ニミユコノ後御當家ノ御料所トナリシ頃ニヤ綱島十八騎ト號スルモノアリ其ウチ近藤五郎右衛門正次トイヘルモノ天正十八年御打入ノ時當所ニテ采地三百石ヲ賜ヒ十八騎ノ魁タラシムト云其餘ノ姓名ヲ傳ヘス此コト土人ノ口碑ニモノコレリ又寛永二十年武藏國稻毛領綱島十八騎ト云コトモノニモ見エタリサレハ此等ノ人々ハ北條家滅亡ノ、チ東照宮ニ屬シ奉リ甲州侍武川衆ナトイヘルモノ、如ク綱島ニテ采邑ヲ賜ハリシユヘカク唱ルナルヘシ御入國ノ後伊奈半十郎カ家ニテアツカリ奉リ夫ヨリカハル、御代官ノ支配所ナリ享保ノ頃高麗雉子ヲ當所ニ放サレシコトアリ村民ヲシテ其番ヲ勤メシム故ニ暫ク助郷ナトツトメサリシカ其後又モトノ如ク村役ヲツトムルコトニナレリ此事他村ニナキコトナレハ暫クコレヲアク檢地ハ元祿八年安藤對馬守重治コレヲ承リシノ後シハ、新墾ノ地イテキテソコハタノ貢數ヲ定メラレシト今ハスヘテ小野田三郎右衛門カ支配スル所ナリ

高札場 字別所谷

小名 中村 央村ノ中 下 東ノ方 別所谷 西ノ方

鶴見川 西ノ方都築郡新羽村ヨリ流レ來リ又隣村太尾村ヨリ來ル水ト合シテ一問許又早淵川矢上川ト云ニ水此川 ○早淵川 乾ノ方都築郡吉田高田ニ村ノ間ヨリ落合則下ニ出セリ合セ見ルヘシ ○早淵川 流レ來リ村ノ間ヨリ入リ是川幅二間ニアマレリ ○矢上川 長ノ方矢上南加瀬ノ間ヨリ來リ村ノ間ニ入リ是島橋 鶴見川ニ架ス長 ○坎樋 早淵川矢上川ニ合シテ流レニ ○其ノ外ハ皆ヤマノ神明社 古中村ニアリ南前ニ鳥居ヲタツ例祭三月十六日同郡箕輪村大聖院持 ○諏訪社 宇下ニアリ是モ南前ニイタル神體坐像ニテ長九寸許前ニ神鏡ヲ置リ勸請ノ年代詳ナラス例祭七月二十七日 末社 稻荷社 四方ノ祠ナリテ前ニ木ノ鳥居ヲタツ 羅 是モ同所ニアリ五尺四方ノ祠ナリ北 長福寺 宇中村ニアリ淨土眞宗ニテ京都東本願寺末綱嶋山ト號ス客殿七間ニ六間宇スヘテ燒失シ舊記等モ此時殘リナク燒失セシカハ開山ノ僧モ詳ナラス 堂 門チ入テ左ニアリ前ニ數級ノ石階アリ九 ○東照寺 宇別所谷ニアリ曹洞宗ニテ光院ト號ス門外ニ石階九級ヲ設ク此寺モト大曾根村ニ坐像長七寸許行基菩薩ノ作ニ移セリト云客殿七間ニ五間南ニ向ラ本尊藥師木ノ坐像長七寸許行基菩薩ノ作ナリト云開山生外意鏡和尚寬 鐘 客殿ニカゲテアリ元祿十三年ノ銘アレ 熊野 文四年十二月二十四日寂ス

社ニアリ小祠ナリ○觀音堂同邊ニテ山上ニ三間ノ堂アリ又水月庵ト號ス石階二十六級
音ノ坐像ニテ長五寸許胎中ニ十一面觀音ノ立像ニテ是モ長五寸許ナリ稻荷社堂ニ向テ右ノ
ルヲコメテケリ又前立アリ木ノ立像ニテ是モ長五寸許ナリ堀出セリト云道慶禪門○不
天神社稻荷ヨリモ少シ古碑一基先年字別所谷ヨリ五月二十九日ト云道慶禪門○不
動堂是モ同所ニアリ小祠古碑一基先年字別所谷ヨリ五月二十九日ト云道慶禪門○不
ルヲタツ勸請ノ年代詳ナラス

北綱島村

北綱島村ハモト前村ト一村ナレハ古キ領主ノコト及ヒ郡ノ方位等スヘテコトナル
コトナシ御入國ノ後ヨリ御代官所ナリシチ一度竹尾市十郎カ御役ノ料トシテ賜ハ
リシコトアリツノ後又御料所ニ復セシカハ此頃ヨリ南北ニワカテリト云正保ノ頃
ノ物ヲ見ルニ尙一村ナレハコレヨリノ後ノコトナルヘケレト其年代ハ詳ナラス今
ハ小野田三郎右衛門カ支配所ナリ寛永二十一年酒井河内守命ヲ承リテ檢地セリ村
ノ四境モ亦前村ニ同クシテ唯北ノ方ワツカニ駒林村ニ隣ルヲコトナリトスルノミ
民家五十五軒東西十町南北三町許水田多ク畑少シ地形ハ中央タカクシテ其餘ハス
ヘテ平地ナリ水損ノ患スクナカラスト云
高札場字北谷ニ

小名

北谷西ノ方

中北谷東ノ方

下南綱島ニ接

鶴見川村ノ西ノ方南北綱島大牙ノ地ヲ流ルハナレハ當村ノミテ別テ○早淵川村
乾ノ方ヨリ南ヘ流ル川幅○以樋御普請所ナリ○矢上川分水ハ矢上川ハ村内ニハカ
三間是モ前村ニ詳ナリ○以樋御普請所ナリ○矢上川分水ハ矢上川ハ村内ニハカ
設テツノ水○西ノ方吉田村境早淵川ノ邊リ

來迎寺字北谷ニアリ淨土宗小机村泉谷寺末稱念山智光院ト號ス本堂四間四方西
ヲ置開山ハ稱譽天和三
年十二月十四日寂セリ

大曾根村

大曾根村ハ郡ノ中央ヨリ少シク西ニヨリテ都筑郡ノ堺ニアリ古ハ小机ノ庄ニ屬シ
百八郷ノ一ナリシカ今ハ神奈川領ニ屬セリ江戸日本橋ヨリ行程六里ニアマレリ民
家四十一軒村ノ四境東ハ樽村ニ接シ西南ハ太尾村ニトナリ北ハ綱島村ニサカフ又
鶴見川ヲ隔テ、少ク當村ノ地アリモトハ川ノコナタナリシカ洪水ノ時川ノ瀬カハ
リ今ハ川ノ向ニアリテ飛地ノ如クナレリ東西九町許南北十二町ニ及ヘリ畑多クシ
テ田少シ水旱共ニ患アリ地形西南ハ小山ツ、キテ其餘ハ皆平地ナリ此所モ昔小机
ノ城主笠原某カ領セシ所ナリ御入國ノ後御料トナリ伊奈半十郎カ家ニテ世々預リ
奉リ夫ヨリ御代官カハルニ支配シテ今ハ小野田三郎右衛門カ御預リ所ナリ元祿八

年安藤對馬守重治命ヲウケテ檢地セリト云

高札場殿谷ニ

小名 殿谷 請セリ中央テ古ハ笠原カ子孫トナリテ今ニ此所ニテ其後稻荷ヲ勸 武田

谷 東南ノ界アリト云古ハ武田ノ子孫ト云者ニ殘レリユ 中ノ谷 中央ノ宿前ノ武田谷

山崎 北ノ界 根崎 前ノツ、八幡耕地 所テ水田ノ

鶴見川 西ノ方太尾村ヨリ來リ北ノ方綱嶋村ノ所テ流ル東ノ方樽 ○綱島橋鶴見川

八幡社 一尺許尋常ノ設ト異リ雨部ノカクテ四十五級ヲ設ク九尺ニ一丈神體長

其作テ詳ニセス例祭八月三日 末社 稻荷社 本社ニ向テ左ノ神像相混シタル像ナリ

鳥居 祠ナリ内ニ安禰ハ神體ノ東ニ行ヘリト云村長八寸許 六所明神社 崎字根

沙門 如キ社ナリ祭禮ハ豊年ノ時ニ向テ神體ハ立像ニモ長八寸許 天滿宮 字中谷ニ

大乘寺 村ノ南ニ方ニ祭禮ハ豊年ノ時ニ向テ神體ハ立像ニモ長八寸許 白山稻荷合社 門外

光寺 五間巽ニ向テ古義新言宗ニテ鳥山三會寺末清雲山觀音院ト號ス客殿七間

鎮守 祠境内 地藏堂 尊長四尺七寸ノ坐像ヲ安ス 衆寮 門テ入テ左ノ方ニ長

テ本尊木佛ニ 秋葉社 腹ニ向テ左ノ小祠ナリ ○正觀音堂 三間半ニ助カ構ナリ東ニ向

壘跡 村ノ中央ニテ山ニテ凡六町四方許相傳フ北條ノ出張城ト云今ハ形モ打

ノ明應ノ頃此所ニ古マテ結ヒテ籠ノ跡モ残リコト小橋ナトワカセシカハ今ハ形モ打

孫廣信 跡ナリ此所ニ古マテ結ヒテ籠ノ跡モ残リコト小橋ナトワカセシカハ今ハ形モ打

屋敷 是モ小機ノ城ノ跡ナリ此所ニ古マテ結ヒテ籠ノ跡モ残リコト小橋ナトワカセシカハ今ハ形モ打

コトヲ乞フ然ニアルニ平左衛門彼カ骨ノ尋常ナ州倉ニ於テ己カ家臣ト戦死セリ

時ニ立已ニ十五歳ニ至リシカハ藤七郎ノ御上洛ノ時ニ此所ニ宿シテ初テ

調シ奉リ新知ニ百石ヲ賜フ時ニ天正八年東照宮御上洛ノ時ニ此所ニ宿シテ初テ

伊藤原カ家臣トミエタリ未タ其是非詳ニ松ノ寺ノ彼藤七郎ノ御上洛ノ時ニ此所ニ宿シテ初テ

シト云今ニ都筑郡臺村ニ其子孫ニ至リテ遂ニ笠原カ家臣トナリテ或ハ采地ノ里正テ見

舊家者百姓太助 本氏ハ笠原氏ナルヲ中古富川ト改ム其家譜ヲ見ルニ同郡小机ノ山間ニ磐ヲ結ヒテ籠居セリ故ニ此所ヲ字シテ殿谷ト云クテ一子ナキトナシ深クナケキ村内長光寺ノ住僧圓覺法印ヲ請シテ朝夕稻荷ヲ祈念セシニ程ナク其妻懷妊シテ男子ヲウメルニ因テ今ニ至ルマテ笠原稻荷ト稱ス此子成長シテ中へ一社ヲ造建シ稻荷ヲ勸請セリ因テ今ニ至ルマテ笠原稻荷ト稱ス此子成長シテ中へ一社廣定ト云天正十二年八月二十日歿ス其子廣信ハ天正九年豆州戸倉ノ戰ニ叔父平左衛門ヲ始一族皆戰死シ同十八年小田原及小机ノ城共ニ没落シケレハ此砦トテモ廣信一人ニテハ力ノサヘカキキ計リ自ラ破却シ此所ヲ退キ後氏ヲ富川ト改メ名ヲモ與右衛門ト稱シハシ民家ニ跡ヲカクセシカ後桑門ニ入テ必叟淨玄ト云後世ノコトノミイトナシカ代カハリモノウツリ天和三年三月十二日没ス夫ヨリ子孫連綿トシテ當所ニ住シ今ハ一族十軒ニアマレリト

樽村

樽村ハ大曾根村ノ東ナリ郷庄ノ唱ヲ失フ江戸日本橋ヨリ五里半ノ行程ナリ民家五十六軒東西八町南北モ亦シカリ村ノ四境東ハ駒岡村ニ隣リ南ハ新古師岡村ニ接シ西ハ大曾根村ニ及ヒ北ハ鶴見川ニ堺ヒ川ヲ隔テ綱島村ナリ地形南ノ方ハ高クシテ其餘ハ平地ナリ水田多ク陸田少シヤ、モスレハ水旱ノ患アリ當村往古ハ何人ノ領セシヤ詳ナラス御入國ノ後伊奈半十郎カ家ニテ預リ奉リ元祿八年安藤對馬守命ヲ奉シテ檢地ス今ハ小野田三郎右衛門カ支配スル所ナリ

高札場 字中村

小名 大下 村ノ東ノ方ヲ云

中村 文字ノ如ク中央ナリ

上 西ノ方ヲ云

岨根 南ノ方ナリ

鶴見川 村ノ北ノ方ヲ屈曲シテ流ル大曾根村ニ堤鶴見川ニシテ高九尺幅十一間

井村 村ノ用水トス流末ハホトナシ師岡村ノ境ニ至テ止ル

杉山社 字大下ニアリ石階十二級ヲ設ク本地主澤不動ヲ神體トスサレト幣帛ノミリ社内ニ棟札アリ其中ニ應永年中鰐口ヲ鑄シコトナシル所ヲコノ鰐口ハ故アツテ昔村民ノ方ヘアツケテキシト云傳フルノミニテ今ハ在所ヲカナラスカハル古ス且口碑ニ殘ルコトサヘナケレハ今ヨリハタノカタルヘケレトモ社傳モ見エアケテ後ノ考チマツ

杉山大明神

別當師岡村 法華寺

應永十八年辛卯年鰐口鑄之

元祿六癸酉年當社建立

應永拾八卯年ヨリ元祿六酉年迄二百八十三年

酉四月

山王社 村ノ南ノ山ノ半 ○神明社 前ノ山王ノアリ小祠 ○神明社 字大下ニアリ右ノ三ノ年ノ豐饒ニアリハ村民コソリテ祭ヲナスト云共ニ師岡村法華寺持本長寺 字根ニアリ日蓮宗ニテ京都妙満寺末長命山ト號ス客殿六間ニ五間東ニ過去帳ヲ見ルニ當村ノ百姓喜右衛門カ先祖ハ北條氏真ノ屬ト云ト見エタリサレト云

新編正藏... 其詳ナルコトハ得テ知リカヤシ

番神堂九尺四方本堂

上駒岡村 中駒岡村 下駒岡村

駒岡村ハ樽村ノ東ニアリ江戸日本橋ヨリ行程五里古ハ師岡庄ノ唱アリシト云今ハ... 高札場 上村ノ内中

小名 西ノツマリ上村ノ中ニアリ 稲荷谷 カバハラ 池ノ丸 池ノ下 カケ山

境 ゼンズヒ 官ノ脇 長坂 センカウ谷 内手 火打山 堤外以下イッレ

モ中下兩村ニマタ 一ノ瀬 字堤外ヨリ 桑木島 西ヨリ 念佛塚 西方ニ

カリン小名ナリ 八千代田前 東ニ 前土浮 同所 八幡前 鶴見川ノ

田方ニアリ 鶴見川 上末吉村ニ通セリ長八町幅十七間許

キテ今ハ當村ノ溜井トナセリ 溜井 村ト當村ト入會ノ溜井ナリ

稻荷社 上村ノ内坤ノ方山ノ中腹ニアリ本社ハ小祠ニテ前ニ

村内ノ鎮守ナリ前ニ石

ノ鳥居ヲ建村民ノ持

所謂高サ十間許

○辨天社 中村ノ中央丘上

○八幡社 下村ノ鎮守ナリ東ノ内ニ

○神明社 中村ノ内南

常倫寺 上村ノ内東方ニアリ曹洞宗郡中小机村雲松院ノ末照光山往生院ト號ス天

三月二十三日ニ寂セリ其後花嶽周香和尙ヲ開山トナシテ一寺ト建セリ

慶長七年九月二十三日ニ寂セリ其後元祿七年小田切土佐守直利再建セリ

雲山吉祥院ト號セリ後又寛永四年久志本左京此寺ノ檀越トナリ山號寺號ヲ改

メ其家ノ祖左京亮常倫ノ名ヲモテ寺ノ名トセリ本堂西向八間ニ六間本尊釋迦ノ

坐像長一尺此外ニ彌陀ノ坐像長一尺餘惠心僧都ノ

作ナルヲ安セリ此彌陀ハ久志本氏ヨリ納メシト云

鐘銘

南閻浮提武藏國橋樹郡小机庄駒岡縣瑞雲山吉祥院者大源派脉喜雲未流也日頃

新編正藏... 駒岡村

院主雖望華鯨聊不遂本旨大哉鐘乎於德也吾西方聖人曰若打鐘時一切惡道諸苦
並得停止智者大師曰臨命終時得聞鐘聲增其正念南唐先生主人冥府因陰獄唯聞
鐘聲則暫息苦云々蓋引三之證示諭後進其餘功德不可勝記于茲大檀那源直利公
追善嚴父定光院殿前作州大守禪功良勳居士清淨本然忌諱日新鑄洪鐘以鎮精舍
非夙植般若善苗安能捨身財之若是哉尊靈託此勝因以助冥福西超妙樂幽雲村野
等魂恃請爲銘如斯功德不可思議即不辭才拙謹爲其銘

銘曰

上大橐籥 地下鞀鑪 金口鑄出 木舌機樞 響轟碧落 音徹雲衢
圓通普遍 扣擊聲胡 聞慧省發 妙悟凡逾 超越五蓋 離却三塗
六趣解脫 眞惟契符 十方法界 同無齟齬 成等正覺 聊斷踟躕
已身彌勒 唯心文殊 高輝佛日 一扇帝圖 風調雨順 四民歡乎
齊家治國 千釋千儒 武運長久 大樹城都

時 元祿龍集癸酉仲春穀旦

本寺前惣持兼石雲松現佳傳燈沙門別峯敬銘勸緣比丘吉祥院主口順的大檀那小
田切土佐守從五位下直利謹成大器

奉行

全

池田氏昇勝

河合氏種之

大工江戸住 長谷川伊勢大掾藤原國永

長松寺 上村ノ内西ヨリニアリ郡内神奈川宿金藏院ノ末摩尼山ト號ス客殿六間ニ
五間本尊藥師坐像長二尺許ナルヲ安ス中興開祖法印慈觀寂年ヲ傳ヘス開
山ニ至リテハ其名ヲモ傳ヘス境内ノ石碑ヲミルニ權大僧都法印快重延寶五年六
月十八日トアリ是開山ニテモアリヤ今住僧ナケレハ總テタハスヘキヨシナシ
大日堂 客殿ニ向テ左ニアリ石○正行寺 中村ノ内東ニヨリテアリ淨土宗神奈川宿
開スコノ僧ハ慶長六年六月十日ニ寂セリ客殿ニ○壽福寺 中村ノ内北ニアリ天
六間ニ五間半西南ニ向フ本尊彌陀立像長二尺○壽福寺 中村ノ内北ニアリ天
山ト號ス明曆三年ノ草創ニテ開山教海ハ天和二年閏六月三
日ノ寂ナリ本尊大日ノ坐像長一尺五寸堂ハ五間ニ四間半

箕輪村

箕輪村ハ郡ノ中央ヨリ少ク西ニヨリテアリ稻毛ノ庄ニ屬セリ江戸日本橋ヨリ五里
ノ行程ヲ隔ツ開墾ノ年代ヲ傳ヘス民家四十五軒村内所々ニ散住セリ村ノ四境東ノ
方ハ矢上村ニ隣リ西ノ方ハ駒林村ニ續キ南ハ綱島村ニ交ハリ北ハ又矢上駒林ノ二
村ニ隣レリ東西ノ長サ六町南北ノ徑八丁許土地ノ様北ノ方ハスヘテ小山ニテ南ノ
方ハ平衍ノ地ナレハ水田多クシテ陸田少シ水旱共ニ患アリ此村上古ハ何人ノ領地
ナリシヤ詳ナラス小田原家人所領役帳ニ左衛門佐ノ知行小机綱島箕輪二百貫文ト

載セ又内藤三郎兵衛ノ知行湯田箕輪十八貫文ト見エタリ是ニヨレハ永祿ノ頃ハ北
條氏ノ支族此所ヲ領セシコト知ルヘシ湯田ト云所モ此邊ニヤ未タ詳ナラス御入國
ノ後正保ノ頃ハ伊奈半十郎忠治カ御代官所ノ外北條新藏カ知行ナリシコト其頃ノ
モノニ見エタリ土人ノ傳ヘニモ北條安房守道中奉行タリシ頃御役料トシテ賜ハリ
シト云其後清揚院殿御靈屋料トシテ増上寺ニ附セラレ又文昭院殿御靈屋料トナル
此等ノ年月詳ナラス元祿八年安藤對馬守重治命ヲ承リテ檢地シ同十五年又小長谷
勘左衛門檢地セリト私領ノ方纔ニ十二石餘今ハ鈴木國三郎カ知行スル所ナリ

高札場 竹ノ花ト夕日山
トノ接地ニ建リ

小名 夕日山 村ノ西 竹ノ花 是モ西ノ 梅ヶ谷 東ノ邊ノ

溜井 村ノ乾ノ方宇池ノ谷ト云所ニアリ廣シテ今ハ一畝十五歩許又大池
トモ云古ハ三ヶ所アリヨカニ所ハ廢シテ今ハ一畝十五歩許又大池
來リ引

太神宮 村ノ東ノ方山ノ上ニテ宇太右衛門谷ト云所ニアリ亨徳二年ニ勸請セシト
九月二十二日七年ニ一度祭ル其故ハ當社及ヒ下ニアル所ノ稻荷天神各隔年
ノ祭ヲ一社トシ順ニ送リテ祭ルユヘ斯隔タレリト云
社辨財天社 本社ニ小池ヲモテ左ノ邊ニテ小社南ニ向フハ池ノ内辨財天ト云
テ山ノ上ニテ社ヲ結フ九尺二間南ニ向フ前ノナカハカク唱ト云
狹ミテタテリ寛永六己巳年勸請スル所ニテ祭禮ノ事太神宮ノ條下ニ出セリ
○天神社

村ノ東字向ト云所ニアリ是モ山ノ上ニテ御嶽社 村ノ中央字根方ト云所ニアリ前
ニ社アリ元祿二年正月勸請スル所ニテ云
タツ大ナル杉ノ木アリ例祭年々二月八日木月村妙海寺持此社ハ古ハ網嶋村ノ田
間ニアリシヲ某ノ年當村ニ移スル所ニモ亦ワツカノ鳥居ヲ建拜殿三間ニ設テ
シテ今○諏訪社 此モ根方ニアリ村ノ鎮守ナリ前ニテ長六寸文安元年鎮座ナリト云
傳フレト其マサシキ事ヲ
知ラス例祭七月二十四日

大聖院 字根方ニアリ天台宗駒林村金藏寺末景谷山東觀寺ト號ス開山ハ什肆ト云
ニシテ退院セリ其後元應二年正月二日示寂スルト云什肆退院セシヨリ久シク廢寺
ノ如クニテアリシヲ永享元年三月忠舎ト云僧興復セリト云此等ノ事粗寺傳ニ見ユ
ニシテモ古キ世ノ事ナレハ其詳ナラズ六月十一日示寂スルト云門向ヲ問九尺東ニ
ニシテモ古キ世ノ事ナレハ其詳ナラズ六月十一日示寂スルト云門向ヲ問九尺東ニ
客殿 六間半ニ六間餘東ニ向フ本尊不動 釋迦堂 門向ヲ問九尺東ニ
許作知レヌ或ハ云行德菩薩ノ作ト云又十一面觀音ノ像ニテ長一尺一寸許
ナルヲ安ス相傳フ元和元年大坂御陣ノ頃都筑郡川嶋村ノ農民夫役ニ出シ時陣中
テ當寺ニ納メシト云 山王社 境内ニアリ元祿九年 辨天社 同所ニアリ元祿十六
稻荷社 境内持添年貢地ノ内ニアリ勸請セシ所ナリ

上末吉村

上末吉村ハ郡ノ中央ヨリ南ニヨリテアリ郷庄ノ唱ヲ失フ此村古ハ上下スヘテ一村
ナリシカ中古ワカテリ正保ノ頃ノモノナミルニ未タワカレス元祿ニ至リ上下ノ二
村ヲワカチテ見ユレハ此間ニワカレシコト知ラル村ノ四境東ハ矢向村ニトナリ南

ハ鶴見北寺尾馬場ノ三村ニツ、キ西ハ駒岡村ニ接シ北ハ小倉江崎ノ二村ニ及フ東
西十丁南北八丁ニアマレリ江戸日本橋ヨリ六里ノ行程ナリ民家九十軒土地ノ様西
南ハ山ツ、キニテ東北ハ平地ナリ田畑相半セリ村ノ東北ニ鶴見川アリヤ、モスレ
ハ水溢レテ稼穀ヲソコナフコト少ナカラス又旱損ノ患モアリ當所モ小田原分國ノ
頃ハ其家人ノ領地ナリト云既ニカノ役帳ニ小机末吉三十五貫間宮豊前守知行ノ地
アリシコト見エタリ御入國ノ後御料トナリ伊奈半十郎カ家ニテ預リ奉リ夫ヨリ代
ル御代官ノ支配所ニテ今ハ大貫次右衛門光豊カ支配スル所ナリ又曾テ此村ノ内
ヲ増上寺御靈屋料ニヨセラル檢地ハ元祿八年安藤對馬守重治命ヲ承リ其後新墾ノ
地イテキシ時ハ明和七年伊奈半左衛門忠敬檢地シテ貢數ヲサダメタリト云

高札場 字石田 町ニ建

小名 根畑 村ノ西ノ 池田 是モ西ノ 梶山谷 同シ方ニテ 石田町 北ノ方 岩

瀨方 是モ北ノ 柳町 中央ニ 加賀久保 右ノ續キニテ少

鶴見川 北ノ方小倉村ヨリ來リ村ノ東北ノ堺ハ屈曲シ ○末吉橋 鶴見川ニワタス村

テ命セラル長十七間幅二間 ○溜井 村ノ西駒岡村ノ境ニアリ廣五尺餘此水ヲ引

○悪水 三ヶ所村ノ北

神明社 宇梶山谷ニアリ山上ノ眺望宜シ宮作ニテ一間半ニ二間ノ上屋ヲ ○三島社

宇根畑ニアリ山ノ半腹ニ社ニ立テ石階十九級ヲ設ク社ノ邊スヘテ竹木生茂リ山

ノ下ニハ又大松二株立リ側ニ鳥居ヲ建例祭九月二十九日杉山明神ト隔年ニ祭ル

村内圓 未社稻荷社 本村ニ向ヒテ 天神社 同シ邊 三峯社 天神ノ向 ○八幡社 是

小名根畑ニアリ村ノ鎮守トス例祭二月二日 ○杉山社 宇石田町ニアリ宮作ノ社ニテ

祭九月十九日三嶋社ト隔年ニ祭ル村内圓明寺持 ○杉山社 宇石田町ニアリ宮作ノ社ニテ

不動堂 小名根畑ヨリ又四十級ノ大童子ノ木像アリ共ニ長三尺餘此本尊ノ胎中ニ

慈覺大師ノ刻メル像ヲ崇メテケリト相傳フ淳和天皇ノ御宇大同年中疫癘大ニ行

ハレシ時祈念ノ爲大勅ヲ蒙リ山後ノ杉ノ木ヲモテ自シノ淳和天皇ノ御宇ハ天

長年中ナリ況ヤ年代ヲオスニ大同年ハ天皇ノ慈覺十三年號ニシテ淳和天皇ノ御宇ハ天

キ道場ナルコトハ疑ナシ古 鐘樓 堂ニ向ヒテ左ノ方ニ實曆三年二月四方鐘ノ徑リ二

不動塚 堂後ノ山上ニアル小高キ塚ナリコト夫ヨリ不動松ト云アリ圓ニ二丈餘樹根ヨ

クナルヤ計リカシキイカニモ年フツカタル植シユシ幹ノ中程ニウロアテ彫刻セシ

サレハ遠ニイナル久旱ニモ渴スルコトナク眼ヲ患ルモノ願テテハ洗フコト怠ラ

ノ海ツラ眼ニ臨西ハ富士大山其餘ノ諸峯遙ニ見渡サレテ殊ニ 仁王門 山ノ中

所アリ石ニテタハミク龍ノ口ユリ落ル此門ノ左ノ方ニ行人ノ垢離スル 別當眞

福寺 天台宗ニテ荏原郡品川宿常行寺末明王山不動院ト號ス開山開基詳ナラス中ノ作ナリ臺坐後光アリ近代人ナリ客殿六間ニ五間本尊十一面觀音ヲ安ス行基菩薩ノ年代スヘテ詳ナラス客殿三間ニ四間半東ニ向フ本尊七
佛藥師ノ木像ヲ安ス共ニ長一尺許行基菩薩ノ作ナリト云
○寶塔寺 同シ邊ニアリ本尊彌陀ノ坐像ヲ天台宗ニテ品川宿常行寺末開山開基詳ナラス客殿六間ニ五間
稻荷社 客殿ノ東ニアリ小○行定院 末大日山ト號ス本寺第十世慧滿ノ末吉村寶泉寺
○阿彌陀堂 字岩瀬ニアリ高ク土ヲ封セシモノ
○甲塚 塚上ニ又小高ク土ヲ封セシモノ
○溜井 村ノ方ヨリ乾ニ至リテハ山續キニシテ中
○堤二ヶ

下末吉村

下末吉村ハ上村ノ南ニツ、ケリコノ村上下ニワカレシコト前村ノ條ニ出セリ村ノ四境東ハ市場村ニトナリ南ハ鶴見村ニ接シ西ハ駒林村ニ及ヒ北ハ上末吉村ナリ東西八丁許リ南北七丁餘民家五十六軒地形坤ノ方ヨリ乾ニ至リテハ山續キニシテ中央ヨリ西東ハ平地ナリ陸田多ク水田少シ水損ノ患アリサレト用水ニ不便ナレハ天水ナタクハへ用ユ故ニマ、旱損ノ患モアリ此所モト間宮豊前守カ知行アリシコト又御代官所トナリ及ヒ檢地ノ年代等スヘテ前ニ出セリ

高札場

上末吉村ノサカ

小名 上村ノ北

下南チ

根通 西ノ方

塚ノ手 是モ西ノ

別所 南ノ方

鶴見川 上末吉村ヨリ來リ此川ノ東ノ方チ流レ南ノ方鶴見村ニ入ル川幅二十間或
川ト唱フ即チ○古川 村ノ鶴見川ノ元チ幅十間長三百間餘前ニイヘルコ
下ト出セリ
梁ス土橋ニシテ長十間餘九尺餘耕作ノ溜井 村ノ方ヨリ乾ニ至リテハ山續キニシテ中央ヨリ西東ハ平地ナリ陸田多ク水田少シ水損ノ患アリサレト用水ニ不便ナレハ天水ナタクハへ用ユ故ニマ、旱損ノ患モアリ此所モト間宮豊前守カ知行アリシコト又御代官所トナリ及ヒ檢地ノ年代等スヘテ前ニ出セリ
熊野三社 字別所ニアリ小屋下ノ鎮守ナリ石階二尺觀音長五寸藥師長五寸鳥居チタツ社
熊野三社 字別所ニアリ小屋下ノ鎮守ナリ石階二尺觀音長五寸藥師長五寸鳥居チタツ社
寶泉寺 字根通ニアリ曹洞宗ニテ多磨郡青梅村海禪寺末開山ハ海印智濟ト云大永
造建セシカモ當寺ヲ開基セシト云康俊豆州山如ク問宮豐前守康俊古此地ヲ領セシユ
傳盛居士明岳貞意大姉ト云レリ今康俊カ子孫多ク旗ノ下ニ法印トモコノ榮山
今ニ記セシ大鳴村ニアル伊左衛門ト云百姓等々八月二十六日ハ法證ナルモ追
福チノトキ北條家ヨリ當寺ヘ寄附セシ文書アリ後御當家ニイタリテモ御朱印ヲ
永芳ノトキ北條家ヨリ當寺ヘ寄附セシ文書アリ後御當家ニイタリテモ御朱印ヲ

賜ハリシカ第四世ノ時失火シテ堂舎残りナク鳥有シ右ノ文書及ヒ御朱印等悉ク
火失セリト其咎ニヨリテ此僧ヲハ削リテ歷代ノ内ニカクヘスカハリヨリ後ハ
御朱印ヲモ下シ 表門 南ニ向フ柱間九尺葦酒 本堂 表門ノ正面ニアリ十間ニ七
賜ハラスト云 鐘樓 六世大室ノ時潮田村ノ一翁ト云モノ撞鐘ヲ寄進セシカ其後豊イテキ
寸二 鐘樓 六世大室ノ時潮田村ノ一翁ト云モノ撞鐘ヲ寄進セシカ其後豊イテキ
サレトテ此再鑄ノ時撰ニシテサセル考證ニモナラサレハ畧シヌ 衆寮 本堂ニ
左ノ方ニ安ス慈覺大師ノ作ナリト云 釋迦銅像 本堂ノ前ニヤテリ臺坐トモ五尺
觀音ヲ安ス慈覺大師ノ作ナリト云 釋迦銅像 本堂ノ前ニヤテリ臺坐トモ五尺
俗濡佛ト唱ルモナリト云 白山祠 釋迦像ニ向ヒ右ノ方ニアリ 稻荷祠 白山ノ西ノ
祠正一位丸 裏門 表門ニ向ヒ大門前ノ内ニ 西光寺 寶泉寺ノ末ナリ曹洞宗ニテ
山稻荷ト云 裏門 表門ニ向ヒ大門前ノ内ニ 西光寺 寶泉寺ノ末ナリ曹洞宗ニテ
ス山ノ半腹マテ石階二十三級ヲ設ケ其上ニ客殿アリ五間半ニ人慶長十九年十一
尊木像ノ觀音長二尺ナルヲ安ス開山ハ本寺第五世識翁ト云此人慶長十九年十一
月二十九日示寂ス ○地藏堂 本尊立像ニテ長一尺餘弘法大師ノ作ナリト云此堂ハ大
日示寂ス ○地藏堂 本尊立像ニテ長一尺餘弘法大師ノ作ナリト云此堂ハ大
延享二年八月十日示寂ス則堂後山上ニ葬レリ

鶴見村

鶴見村ハ郡ノ東ニアリ東海道ノ内ニカ、レリ村名ノ起ル處ヲ詳ニセスコトニ古キ
世ヨリ此名ノ唱ハアリシコト、ミエテ東鑑ニ云仁治二年十一月四日今朝將軍家爲
武藏野開發御方遠渡御于秋田城介義景武藏國鶴見別莊ト云々此將軍家トイヘルハ
則頼經ナリ此頃ハ秋田義景カ別莊此地ニアリシト見ユレト今ソノ古キ跡モ傳ヘス

サレト此鶴見ノ名古キコト知ヘシソレモ昔ノコトナレハ別ニ此名ナ、ヒシ地名モ
アリシニヤサタメカタシ又梅松論ニ元弘三年五月北條高時ノ弟左近將監入道惠性
ヲ大將トシテ武藏國ニ發向セシ時下總國ヨリ千葉介貞胤新田義貞ニ同心ノ義アリ
テ賈上ル間武藏ノ鶴見ノ邊ニ於テ相戦ケルカ是モウチマケテ引退クト云又建武三
年ノ文書アリ其文ニ云子息五郎義直六郎義冬軍忠之事云々文ノ末ニ建武三年九月
二十八日トアリ按ニ佐竹家譜ニモ佐竹常陸介貞義カ五男五郎義直コノ日武藏國鶴
見合戦ニ討死セシヨシノス又正平七年ノ文書アリ左ニ載ス

水野平太致秋申軍忠事

右自最前馳參御方去月十九日自武州鶴見宿地參關戸同廿三日三浦入御時令供
奉同廿八日錄倉合戦致軍忠候畢其後至平塚宿令御炎上者賜御判爲備後證言上
如件

正平七年三月三日

一號花押

按ニ此頃モ鶴見ノ宿トイヒテスヘテ宿場ナリシコトマダ見ルヘシ又鶴岡八幡ノ文
書ニ鶴見郷ノ名見ユ其文ニ

送進

鶴岡八幡宮于放生會料用途事

合拾二貫文者

右當社御領武藏國鶴見郷分所送進之狀如件

延久三年八月十四日

致誠判

檢納

鶴岡八幡宮寺御放生會御神事料足用途事

合拾二貫文者

右當社御領武藏國鶴見郷號大郷御年貢内且所檢納之狀如件

永和三年八月十三日

榮判

是ニヨレハ延文永和ノ頃此地ハ八幡ノ社領ナリシコト見ルヘシ此ニ註スル大山郷ト云ハ古ヨリ此所ノ郷名ナリヤイマダ他ノ書ニ見エス此邊ハ古ヨリ稻毛ノ庄ノ内ナリトモイヒマダ小机ノ庄ニ傳フレト何ノ郷ニ屬セシト云事ハ里人モサラニ知ラス江戸日本橋マテ五里餘ナリ村ノ廣ハ東西ヘ九丁餘南北十一丁ホトナリ四境ハ東ノ方鶴見川ヲ境トシテ川崎領潮田菅澤ノ二村ニ隣リ南ノ方ハ生麥村ニ續キテ西ハ東北寺尾兩村ニ接シ北ハ下末吉村又鶴見村ヲ隔テ、ナ、メニ市場村ト堺セリ地

勢モ多クハ平地ニテ西南ノ方ニ少シク小山アリ田多ク畑少シ土性ハ鶴見川ニツキタル方ハ黑白ノ砂地小石交リニシテ山ニツキタル方モトヨリ黒野土ナリ村内ニ追分ト云所アリ此ヨリ左ニ赴ケハ末吉村ヲ經テ小机ニカ、リ神奈川ノ邊ニケリ又小杉路ヲトナリ江戸赤坂芝ヘ出ルノ道アリ民家ハスヘテ百二十軒多クハ海道ノ内ニ簷ヲナラヘサシテ貧キ體ヲミス昔寛永二十一年伊奈半十郎忠治此村ヲ檢地セシヨリ元祿八年安藤對馬守重治ウケタマハリニテ此邊ヲ檢地セリ此餘新田ノ檢地ハ寶曆十一年伊奈半左衛門忠宥ウケタマハル支配セシ御代官ハ多クハ伊奈家ニテソノ間ニ田中久藏川崎平右衛門ナトモ支配シ又伊奈家ニナリテ今ハ大貫治右衛門光豐ナリ

高札場 村ノ中ホト海

小名 サンヤ 海道ノ内鶴見橋ノ松原サノヤノ内ナリ是上宿松原ノツハ海道

宿下 宿ト次第ニイヘリ 濱新田 是ハ鶴見川ノ方ヘ深町 鯉淵共ニ北ノ方

云リ 熊下 村ノ中央 寺谷戸 方西ノ胃池 是モ西ノ方チ云皆ノ子生 西ノ方

宮下 杉山明神 北町 前ノツハ 諏訪下 西北ノ成願寺下 西ノ方

鶴見川 村ノ境ヲ流ル此川村内ニカ、ルコト十丁ハカリ川幅二十三間ヨリ四十間餘マテニ至レリ北ノ方下末吉村ヨリ此村ニカ、リ生麥村ノ方ニ至ル所々

ヨリ濁水落合シ川ナレハ其水源ハ二流アリ一ハ多磨郡柚木領十七ヶ村ノ悪水落
ヨリ流イテ都筑郡本村地内ヲ流レ來レリ是ヲ谷川ト稱ス其流ル所ヨリ谷川ト稱ス
コヨリ流イテ都筑郡本村地内ヲ流レ來レリ是ヲ谷川ト稱ス其流ル所ヨリ谷川ト稱ス
ヨリ流イテ都筑郡本村地内ヲ流レ來レリ是ヲ谷川ト稱ス其流ル所ヨリ谷川ト稱ス
...

天王ノ六月七日ユリスヘキトナシ例祭年毎ニ立木ノ鳥居モタリ
淺間祠本ナリ其向ヒテ左ノ方ニ拜殿九尺四方本社一間四方ニ積上タル小祠稻荷小
祠是ハ向テ別當最勝寺社ニ向テ島居ノ外左ノ傍ニアリ末ナリ瑠璃山醫主院等詳ナラ
不動ノ立像長二十年ノ起立ナリ六間ニ傳ハ本尊也 ○稻荷社 宇別所臺ニあり村持也 ○天神
社下ニ成願寺 ○神明社 宇別所ニあり ○稻荷社 宇別所ニあり ○第六天社 宇別所ニあり

天王院村内海道ノ右カハニニアリ天宗ニテ起立シ寛永九年八月二十八日寂スト
本尊ハ彌陀ノ立像ニテ長二尺餘ニハ惠心僧都ノ
作ト云傳客殿七間三尺ニ興行六間東向ナリ
堂是モ左ノ方ニあり二間ニハ藥師堂ニテ
今ハ藥師堂ニテ中間ニ置ナリ東向ニ古昔ニ
ヨリ藥師堂ニテ及ヒハ誰シタルモ五間南
モ無頃建タルヨシニヤ 別當成願寺境内ニ
傳ナ開山モアルヨシニヤ 別當成願寺境内ニ
方寂ヒ山客殿六間ニ正三向ナリ本尊ハ
腹高キ一客殿六間ニ正三向ナリ本尊ハ
前應ハ丈餘ノ石階アリ夫テ下ニ前仁王門アリ仁王ハ少將治政ノ丈許ニテ運慶ノ

作ト云傳ヘタリ子安山ノ額アリ是ハ出雲少將治郷書ナリ此觀音ハ江戸ヨリ
 ノモノモアリ信仰ノ人少ナカラス此堂地ハ古ヘ生麥村ニアリシカ
 村内ニ寺院ナキニハタリ縁起一巻アリシヨシ故ニコノ地ハ今生麥村ノ内ニツ
 テ有ト土人ハ傳ヘタリ縁起一巻アリシヨシ故ニコノ地ハ今生麥村ノ内ニツ
 ス 別當東福寺仁王門ヲ入テ左ノ方ニ木戸門アリ是ヲ入テ正
 宗ナリ開山ハ醍醐勝覺僧ト云堀川院ノ御宇寛治年中當寺ヲ草創シテ末
 月朔日寂セリ鐘ノ銘ニハ大治年中草創トイヘリ後住持歴代等詳ナラズ
 ノ後賢淳ト云連綿ト住僧續ケリ此賢淳當寺中興セリト
 云是ヨリ以來連綿ト住僧續ケリ此賢淳當寺中興セリト
 ノ立像アリ長二尺許 鐘樓觀音堂ノ左ノ方ニアリ元祿
 諏訪家屋敷海邊ヨリ右方ヘ五六丁ユキテ丘上ニアリ一株ノ大松アリ是古
 ハリ諏訪三河守某ト云人北條家ノ家出セリ牛之丞ハ其子ナトニヤト
 舊家者百姓九左衛門 鹽田氏ニイッテ頃セリ牛之丞ハ其子ナトニヤト
 夫重時ソノ二男武藏守時茂ナリ是鹽田氏先祖ト云長男鹽田民部太夫俊時父ト共ニ鎌
 倉ノ合戦ニ自害セリ其後ハ子弟モ田間ニテ微々トモ連綿セシコトハ今
 九左衛門カ家ソノ子孫ヲモテ傳フレハ野人トナリテモ連綿セシコトハ今
 テ持タリ是彼カ先祖トモナルヘシ又北條家ヨリ寺尾村ノ百姓等ニフ
 ト知ラル其文書ハ寺尾村條ニ載ス
 褒善者名主權藏 權藏ハモト他村ノ人ナルカ寛政ノ初此村ノ農家ニ養
 アリツル撫育スルニ常ニ衣食モ乏シカラス同キ四年早魃コシテ家業怠
 ラツル溜井モイッシカ埋レ其頃ハ水テタヘサリコシテ權藏コノ水カレハテ
 ハレ

生麥村

生麥村ハ東海道往還ノカ、ル所ニシテ海ニツヒタル地ナリ神奈川川崎二宿ノ間ニ
 アリ神奈川ヘハ一里川崎ヘハ一里半ヲ隔ツ江戸日本橋ヨリ六里ノ行程ナリ子安郷
 ニ屬セリ當村昔ハ貴志村ト號セシヨシ村内養安寺ノ過去帳ニアリ或ハ岸村トモカ
 ケリ今ノ村名ノ起リシハカリツメノコトニテ御入國ノ頃生麥ヲ苅トリテ海道ヲ開
 カレシユヘ生麥ト號スト云家數二百四十二軒ソノ内漁獵ヲ産トスルモノ六十軒ハ
 カリナリ東ノ方ハ潮田村ニ隣リ鶴見川ヲ界トス南ハスヘテ海ニ添テソノ邊ハ平地
 及ヒ畠ソノ餘屋敷地モアリテ皆磔交リノ砂場ナリ西北ハスヘテ東寺尾村ニ隣レリ
 此アタリハ山ニソヒ土地ニ高低アリ土性ハ黒野土ナリ東西十七丁南北ハ五丁五十
 間アリ村内西ノ方子安村ノ境ヨリ東ノ方鶴見村ノ境マテ貫キテ東海道ノ往還カ、

新編武藏風土記 高橋村卷九

レリ長十九丁餘道幅四間ヨリ五間マテナリコノ往還ノ内二十二丁十九間ノ間ハ家並ニテ其餘六丁二間ハ松ナトノ並木タテリ元祿八年安藤對馬守重治檢地シソノ後芝地開發屋敷一丁一段二十四歩ハ元文二年田中久藏檢セリ又居山開發二段二歩ハ寶曆十一年伊奈半左衛門忠敬コノ後モ居山開發及ヒ築出シ屋敷ヲ合テ一丁五段二十三步コレモ明和七年伊奈半左衛門忠敬檢地セリ當所御料所ニシテ御代官ノ遷替ハ子安村ト同シケレハコ、ニハ畧セリ今ハ大貫次右衛門光豐カ支配所ナリ

高札場 往還ノ前ハツレ字元

小名 岸前ト云其村ノ先ノ方ナレハ此名起リシトナリ岸谷戸村ノ西ノ房

野 同邊コ 子生臺村ノ北鶴見原町枯テ村民居住ノ地トナル故コト云

山林 所々ニ散在シテハテ十六丁六段二十四歩ニ及ヘリソノ内海邊ニ瀧坂ノ下ニ不動ノ像ヲタツ

鶴見川 當村ヘカハル所ハ最末流ナリ川幅

土産干海鼠 サレハ私ニ鬻クコトヲ禁セラルルノ味尤ヨシ

房野池 三段七畝十歩ナリ

○岸谷新池 アコレト云年ヲ歴テ埋リテ陸地ノ如クナレリ

○埋樋 字北ト云所ニ御普請所ナリ

樋 二尺四方コソモ御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○波除柵 字松原ト云所ニ御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

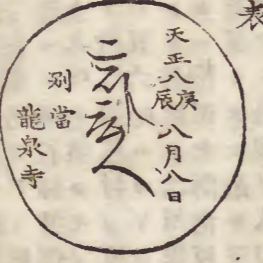
○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

○溜井 三ケ所ト小名御普請所ナリ

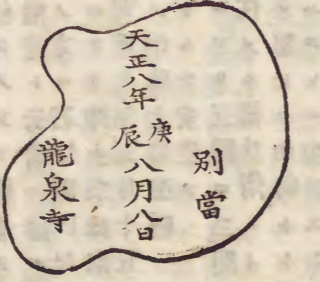
表



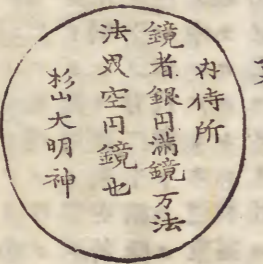
表



裏



裏



新編武藏風土記 高橋村卷九

十四日ト記シ時ノ御代官伊奈半十郎及ヒ手代ノモノ交名ヲシルセリ又元祿十
六年二月ノ棟札ニモ伊奈半左衛門カ名ヲ記セリ例祭年々六月六日神輿ヲ出シ同
カヘルト云○稻荷社以テ此地ノ字ヲモ稻荷臺トイヘリ龍泉寺持○稻荷社ノ西
元宮トイフコトモ小祠ナリ此地ノ字ヲモ稻荷臺トイヘリ龍泉寺持○稻荷社ノ西
社字引込テアリ海道ノ北ノ方ニ詳ナラズ○神明社ナリ伊勢臺ト云フ所ニ持ナリ小祠
側ニ咳テ字ヲ神井畑ノ中ニカケルニ利益アリトイフ小祠ナリ○八幡宮往還ヨリ
土引込ハ見村ノ境ニ上ニカケルニ利益アリトイフ小祠ナリ○八幡宮往還ヨリ
ハ引込ハ見村ノ境ニ上ニカケルニ利益アリトイフ小祠ナリ○八幡宮往還ヨリ
クハ潮田ノ河原ニ本牧ノ山々居ニ連綿シ近○稻荷社往還ヨリ
鳥居ナリ社地ノ入口ノ左ノ方ニ石地藏四尺ナル建ツ
持岸寺往還ノ西ノ側ニ正浄土宗神奈川宿慶運寺末入藏山院ト號ス開山ハ
慶立像長サ三尺慶春ノ作脇士勢至觀門十三間七尺東ニ往還ニタツ二地藏堂
音共ニ長一尺ハカレナル三間ニ因縁ニヤ像ニセマナリテホツカナキカス
永六ニ江ノ橋ニ住メル權兵衛トイヘルモ像ニセマナリテホツカナキカス
ナムヘキヤコノ門前ニハコトシニ安カテノタテコノ小漁者ツナリ前ニコノ鳥居ニタツ古ハ
リ鹽持稻荷祠當村ノ濱ノ邊ニカテノタテコノ小漁者ツナリ前ニコノ鳥居ニタツ古ハ
ト夕ノトキキテ待テ獵船チイタスユヘリト云フ○正泉寺引込ノ中程東側ニ古ハ
ト奈川宿金藏院末南山瑠璃光院フテ號ス寛永元年甲子ノ起立ニテ開山ハ全淨
神云々

ノス毘首野摩 ○安養寺ノ字峯ト云所ニテ海道ノ末右ノ方ニ三丁四十間餘引込テ山
開山ハ慶譽トイフ明應九年七月七日示寂ト云左ノ方ニ安養寺ト云フ
許ナル芝増上寺ヨリ堂宇今東ノ方ニ安養寺ト云フ
古江ノ芝増上寺ヨリ堂宇今東ノ方ニ安養寺ト云フ
安村ニテアリシト云サレト今東ノ方ニ安養寺ト云フ
年代モ詳 辨財天社像ニ向ヒ左ノ方ニ安養寺ト云フ
ナラズ 辨財天社像ニ向ヒ左ノ方ニ安養寺ト云フ
辨天社ノ並ニ ○龍泉寺海邊ノ西ノ方ニ安養寺ト云フ
アリ東向小祠 ○龍泉寺海邊ノ西ノ方ニ安養寺ト云フ
七年十一月朔日寂スモ余ノ第十世一智本譽元重ニ過去帳ニ載ス明應ハ
トイヘハコノ頃マテモ淨土宗ナリハサレト寺僧ハコノ頃マテモ淨土宗ナリハサレト寺僧ハ
間半ニ六間半異向本尊不動立像長三尺ハサレト寺僧ハコノ頃マテモ淨土宗ナリハサレト寺僧ハ
士明應三年三月二十三日生麥太郎兵衛姉トアリナル此ノ方ニ安養寺ト云フ
永正ト同時ナレハモシ此 杉山明神神興堂境内ノ別當ニテアリ九尺ニ前ニ出セル
人ナト基ヲ開キシモヤ ○經塚字貝助臺ト云所ニ出セル
本地佛ノ字書タルモ ○經塚字貝助臺ト云所ニ出セル
オヨヒ棟札等ヲ愛ニ藏ス ○經塚字貝助臺ト云所ニ出セル
舊家者百姓八郎右衛門衛氏ハ關口ナリ入アリシト云家ニ小田原北條家ヨリ出セル
二通ナ藏スノ文中ニモ外記助
以下ノ名見エタリ其文左ニ載ス

當秋風損之儀付而國並十分一致赦免段氏康言上ハ然處御領所百姓等重々侘言
申上ハ歟雖不被及御分別□□分ニ之積子安郷二十六貫文被□御宥免此上抽
而侘言申上ハ者氏康如被申上ハ可被加御成敗段斷而可被申付ハ仍狀如件
永祿八年ナリ
乙丑十月廿一日

御乳

子安郷壬午歳干損之由申上付而癸未四月諸百姓被集有御糺明干損速被引捨納
法于損仕分之御書出

一八拾七貫四百七十文

關口外記助拘

此内壹貫五百文夏成

此内名主

七貫貳百文

關口圖書助

四貫五百十七文

同助七郎

三貫九百十九文

内海兵庫
關口助七郎

四貫二百十文

半込五郎左衛門

三貫貳百六十六文

關口神兵衛

三貫貳百六十六文

渡邊五郎右衛門

貳貫二百七十七文

九郎左衛門

壹貫九百六十五文

源左衛門

壹貫七百七十文

庄左衛門

壹貫百九文

源右衛門

三貫九文

彌二郎

五十貫八百六十二文

關口外記助手前

以上八十七貫四百七十文

此内午納

廿五貫七百文

御藏納申

殘

六十一貫七百七十文

未進

此内

廿貫文

午歳干損御用拾
但脇百姓前共

猶殘

四十一貫七百七十文

御藏納可申

以上

此外

一九貫六百五十文

不作子丑刁之開

此内

貳貫文

午御藏納

殘る

七貫六百五十文

未進

此内六百文荒地之由申

合九十七貫百廿文

高辻

以上

右辰巳午號干損大切之御年貢相ひかへひ百姓爲御憐民出者未進者干損と申分被引捨ひ秋中御請申上之員數並未歲分少成共未進致ニ付而者名主と始可被遂御成敗存其旨此度御請申上ひ透速來秋九月より霜月廿日と切而悉御藏納可申旨被仰出者也仍如件

天正十一^{癸未}卯月廿七日

新編武藏風土記稿卷之六十六終

新編武藏風土記稿卷之六十七目錄

橘樹郡之十

神奈川領

獅子谷村

古師岡村

新師岡村

西寺尾村

東寺尾村

北寺尾村

西子安村

東子安村

新宿村

馬場村

菊名村

大豆戸村

太尾村

篠原村

新編武藏風土記稿卷之六十七

橋樹郡之十

神奈川領

獅子谷村

獅子谷村ハ郡ノ南ニアリ江戸日本橋ヨリ行程六里ニ餘レリ古ハ師岡郷ト云シト傳
 フ文祿三年ニ記セシ物ニハ師岡ノ内鹿谷ト書セリ今其地勢ヲ見ルニ師岡村ト犬牙
 シテ接界分チカダケレハ恐クハ師岡村ヨリ分レシナラン今ノ文字ニ書改メシ其年
 代ハ傳ヘス今土地ニテハ上下二區ニ分テリ是ハ御入國ノ後御料所ナリシヲ慶長年
 中小田切美作守山下又助へ采地ニ賜ハリシ時ヨリ小田切カ知行ノ方ヲ上村ト唱ヘ
 山下ノ采地ヲ下村ト呼ヘリカノ下村ノ方ハ一旦御料所トナリ伊奈氏カ家ニテ支配
 セシカ寶永三年十二月久志本左京へ賜ハレリ檢地ハ文祿三年ニ改シ記祿ヲ傳フレ
 トモ其姓名ヲ記サス寛永二十一年九月ニ至リテ又檢地アリ長谷川岩瀬大橋荻原等
 ナ名乗シ人ナリ是等ハ伊奈カ手ニ屬セシ者ナルヘシ其後元祿八年安藤對馬守重治
 檢地ス村ノ四境東ハ上駒岡村南ハ北寺尾村ニ隣リ西ヨリ北ヘカ、リテ新古師岡ノ
 二村ニ交レリ村ノ廣ハ凡東西ヘ七町南北四丁半餘村内西南ノ方ハ少ク丘アリテ東

新編代官風土記 橋村郡卷十

北八平地ニ續キ田ハ多シテ畑ハ少ナシ家數四十三軒ナリ

高札場アリ一ハ下村ノ内字前田耕地ニアリ

小名 堂坂村ノ南ニテ古此所ニ大ニミツノ前ニアリ

西谷 東ノ方ヲ云ハヒガクボ谷村ノ南ヨリ少

前田耕地ノ 大道通ニアリ北 長町ニアリ 沼向長町ノ

東ニアリ 大入谷 東ノ方 大池

下 是モ東ヨ 原谷 東ヨリ少

大溜井 請命セラレ此村ノニ引用ヒシヨリ堤ヲ築キテ樋口ヲ異

ニ引ク 溜井 字ハヒガクボニシテ餘水ハ駒岡村ニテ用ユ

神明社 八月十二日本覺寺ノ持此所ハ打開ケテ近キワタリノ村々ハ眼下ニ望メリ

上村ノ鎮 山王社 建此モ本覺寺持ナリ 稻荷社 前ノ坤ノ方ニアリコレ

末社秋葉社 本社ニ向テ 神明天神相殿社 鎮守ナリシカ後上村ノ内ニ神明ヲ勸請

本覺寺 大僧都行祐元祿十四年正月三日寂ス開基ハ織山道樹延寶七年三月五日没

寺ト云 本尊大日木ノ坐像ニシテ長二尺五 觀音堂 客殿ノ左ニアリ東向ニシテ長

寸ナルヲ安ス客殿六間半ニ五間東向ナリ

八寸ナル 光明寺 保十四年願ニヨリモト天台宗多磨郡深大寺經ノ内徒ナリシテ三

殿法印貞治二年八月十日寂ス本尊藥師ノ立像長一尺五

六寸ナルヲ安ス客殿長ノ方ニ向フ七間半ニ六間ナリ

舊跡小田切屋敷跡 今里正五郎兵衛カ地所ナリ村ノ西ニユレリ廣七段ハカリ此所

守某久シクコハ一住セシカ召出サレ少ハナリ當所ヲ知行後江戸ヘ移リシ

頃今ノ里正カ先祖ニカノ屋敷ノ内ヲ少ハカリ除地ニナシタヘント云傳フ

古師岡村 新師岡村

師岡村ハ和名抄久良岐郡ノ郷名ニ諸岡郷アレハソノ地名ノワツカニ殘リシナル歟

既ニ庄名ノ所ニモ辨セリ郡ノ中央ヨリ少ク西ニアタリ都筑郡ノ境ニヨリテアリ當

郡ヲヨヒ都筑郡ニモ此庄名ヲカウフリシ村々アレト思フニ此村ソノ名ノ起リシモ

トナルヘシ下ニ載ル鶴岡八幡ノ文書ニ師岡保トモミユ保ノコトハ定カナヲ子ト古

ヘ三丁四方ナ一保トセシヨシモノニ見ユレハ則コノ村ノ内ヲ云シニヤ又小田原所

領役帳ニヨレハ小机ノ庄ニ屬セシナリ村内熊野權現慶長四年ノ御朱印ノ文ニモ小

机庄トアリ今ハソレ等ノ唱モナク只神奈川領ニ屬セリ江戸日本橋ヨリ行程六里ナ

リ民家五十七軒東西九丁三十間南北六丁十間村ノ四境東ハ駒岡村ニ堺ヒ西ハ太尾

村ニ隣リ南ハ北寺尾村ニ續キ巽ノ方獅子谷村ニ及ヒ坤ハ大豆戸村ナリ北ハ樽村ニ

接シ夫ヨリ少ク西ニヨリテハ大曾根村ニサカフ田多畑少シ水旱共ニ患アリ當村ノ

新編代官風土記 橋村郡卷十

開闢ハ古キコトナルヘケレト其年代ハ詳ナラス村内ノ鎮守熊野權現ハ光孝天皇ノ御宇仁和元年ニ再興アリシヨシ縁起ニ載ル所ニシテ且土人ノ口碑ニモ傳フレハ其頃ヨリ開シナランサモアレハ舊キコトナレハ今ヨリハ定カニ言ヘカラス世下リテ嘉吉元年鶴岡文書ニ當所ノ沙汰アリ此頃ハ開ケシコト疑ナシ其文左ノ如シ

鶴岡八幡宮本地護摩公料武藏國師岡保柴開所事爲殊御寄進間難被准自餘歟然者如元社家知行不可有相違由候也仍執達如件

嘉吉元年十二月廿六日

前下野守花押

沙彌花押

當社雜掌

多磨郡ニモ上下師岡村アレトカノ地ハ天正ノ頃師岡山城守カ居住セシヨリ起リシ地名ナリトイヘハ文書ニ云ル所ハ當所ナルコト知ルヘシ五代北條分國ノ頃ハ小机ノ城主笠原平左衛門カ知行九十貫文ノヨシ役帳ニ見エタリ天正十八年御入國ノ後御料所トナリ伊奈半十郎忠治預リ奉リ夫ヨリ後年代知レス村内ノ地ヲ増上寺ノ御靈屋ニ寄ラレ其後再ヒソコハクノ地ヲ加ヘテ御寄附アリシコトアリ此時ヨリ新古ニ分テリト見エタリ其故ハ正保ノ頃ノモノヲ見ルニソノ沙汰ナク元祿年間ノ郷帳

ニハ己ニ分レタリサレト元一村ヲ引ワケタレハ悉ク辨別シテ記シカタシ又村内法

華寺ヘ賜ヒシ御朱印ヲ見ルニ或ハ田東郡トアリ或ハ都筑郡トアリテマナミナレト

モ正保年中改定アリシ國圖ニハ全ク橘樹郡ニ屬セリ檢地ハ文祿三年伊奈能藏忠次

カ承ル所ナリ今モ尙増上寺ノ御靈屋料及ヒ法華寺領ナリ

高札場ニケ所其一ハ古師岡ノ高札ニテ字打起ニアリ新師岡ノ方ハ字大堀ニ建リ

小名 表谷西北ノ方 大堀是モ同シ方ニテ少ク西ニヨレリ 打越谷東ノ方 中谷是モ東ノ方

南谷西南ノ方 溜井ニケ所其一ケ所ハ字南谷ニアリ一段二畝許一ケ所ハ獅子谷村境ニアリ共

熊野三社字寺家谷ト云所ニアリ大門ヲ入テ坂アリ凡三丁ハカリノホリ又下リテ

居ヲ建ツ前ニ石階六級ヲ設ケ夫ヨリ七級ヲ經マテ七級ヲスキテ則拜殿ノ前ニ至ル廣五間半ニ間半夫ヨリ少ク隔テハ本社アリ二間四方ノ宮作リコト五間四方ノ上屋ヲ設クイカニモ物蓄タル社ナリ關東隨一靈驗所熊野三社權現ト云貞治三年五月記セシト云縁記アリ其文ヲ閱ルニ其說ニ至リテハ甚イフカシキコトアル老僧イックヨリ來リケン當所ノ椰樹ノウロニスミ火食セスヲ御宇神龜元年ニ熊野證誠權現ノ名ヲ全壽ト云斯ノ年ヲ送リケルモノナ大和國春日中ニ熊野證誠權現ノ告ニヨリテ本地彌陀ノ像毘首羯摩カ造ルモノナ大和國春日明神ヘ參籠シテ感得シ當所ニ負カヘリ小祠ヲ造リ安置シテ金峯山ニ跡ヲ隱シ遂

新編代官記上巳高 橋村那金 三

新編正統風土記
 杉村君卷十



熊野社圖

御宇仁元去レリト云ソノ後光天皇ノ
 シテ同ニヨリ六月天ノ將ノ
 ナリテ後源平合戦ノ頃ハ社ノ
 リタルノ高倉院承安四年大旱
 人時ニ武藏前司義信ノ勅使ト
 雨ハ祈ラシメ再建セサレタリ
 元ハ右大將頼朝當所ニ於テ
 讀セメシメ火ノ爲ニ堂宇殘
 宣旨ヲ始メ社實ノ悉ク有セシ
 供治ニ遷宮ニ本尊ヲ安置セリ
 月朔日ニ祭禮アリカメ今由等
 此日縁起ニ見エテカメ今由等
 ノコトナレハ其詳ナルコトハ
 ラス又當社ニ粥ト云コトハ
 根ニ於テ筒ノ中テ入コトハ
 テテ穀物ノ種ヲ定ムト云コ
 曆三百年正月七日ニ靈驗甚
 ツト至ルマテ行フニ祭禮ノ
 ハ今ニ相撲ヲ興行セリ是ヲ
 前ニテ相撲ヲ興行セリ是ヲ

ヘリ江戶ヨリ相撰ノ者來リテ行フコトナリ
 トナレト土儀ナトイカメシクシテナリ
 牛王板一枚縁起ニヨリカノ全壽トイハシ
 漫滅シテ何カニモ古キ様ナリ數百年ノ
 星霜テヘタル物ナルコトハ疑ヒナシ
 御信仰ノアマリ御染筆アリテ納メタマフ
 卷末ニ文治二年八月十六日書寫元久二年
 ナト記スモアリ此等ハ後人ノタヒニ號
 代補ヒシモ少ナカラス大抵オクニ年
 古番帳次第一枚ノ頃番ノ次第ナ記セシ
 定

法華寺毎日例時番帳之次第

- 心連坊 正五九月 自一日 至七日
- 禪乘坊 正五九月 自八日 至十四日
- 覺城坊 正五九月 自十五日 至廿一日
- 別當坊 正五九月 自廿二日 至廿八日
- 松下坊 二六十月 自廿九日 至五日
- 理觀坊 二六十月 自六日 至十二日
- 理覺坊 二六十月 自十三日 至十九日

新編代藏風土記
 高野村部卷十

- 定眞坊 二六十月 自廿日 至廿六日
- 蓮臺坊 二六十月 自廿七日 至三日
- 頼覺坊 三七十一月 自四日 至十日
- 義性坊 三七十一月 自十一日 至十七日
- 禪鏡坊 三七十一月 自十八日 至廿四日
- 實道坊 四八十二月 自廿五日 至朔日
- 全性坊 四八十二月 自二日 至八日
- 花城坊 四八十二月 自九日 至十五日
- 珠臺坊 四八十二月 自十二日 至廿二日
- 寂性坊 四八十二月 自廿三日 至晦日

右守此旨可致勤行所如件

貞治二年 卯十二月吉日

衆議定之

龍頭一箇 承安四年旱魃ノ時延朔上人ニ祈念アルヘキ由勅命アリシカハ上人則十
 今ハ其一 末社稻荷社ニアル小祠ナリ 山王社鳥居ノ左ノ 辨天社ノ中ニ
 ナリ是モ 椰樹ニ形ノミ殘レリ近キ頃童木三株ヲ植ユ又コノ山ノ麓ニ廣四五尺四
 方ハカリノ小池アリ是權現ノ御手洗池ナリイカナル久キ早 別當法華寺本社ノ
 ナリトモ古ヨリ渴スルコトナシトナリ一ニ禪定水トナツク 別當法華寺西ニ續
 キテアリ熊野山全壽院ト號ス天台宗ニテ多磨郡深大寺村深大寺末ナリ本堂九間
 ニ六間南ニ向フ本尊彌陀ノ立像二尺六寸ナルヲ安ス脇土觀音藥師共ニ長一尺五
 寸許開山ハ全壽ナリ事ハ前ニ出セリ中興開山ヲ眞賢ト云元祿二年十一
 月朔日示寂ス門外石階六級アリテ左ノ方ニ制札ヲタツ其文左ノ如シ

一寺中不入

一殺生禁斷之事

一山林竹木伐取間敷事

一亂妨狼藉之事

一博奕諸勝負之事

右之條堅可相守者也

別當

慶長四亥年二月七日

十王堂 門テ入テ右ノ方ニ 經塚 境內北ノ方ニアリハハリ二間 ○天神社 字表谷コ
 ナル石龕ニテ上屋アリ ○神明社 字南谷コアリ小祠異ニ向
 永昌寺 字打越谷コアリ曹洞宗ニテ同郡西尾村建功寺末久寶山ト號ス客殿七間
 ト云開山ハ西寺尾村建功寺第二世聲尊守開ト云當 六坐相殿社 門テ入テ左ノ方
 寺ノ勸請開山ニテ寛永元年正月二十九日示寂ス

守ナリ六坐ハ天照太神宮妙義稻
荷天神秋葉熊野ヲ勸請セルナリ
○淨泉寺字中ケ谷戸ニアリ天台宗ナリ熊野別當
ラス前ニ石階
二十餘級アリ

西寺尾村

西寺尾村ハ郡ノ南ニヨレリ今ハ庄郷ノ唱ナシトイヘト元小机ノ庄ニシテ往古ハカ
ノ庄百八ヶ村ノ其一ナリ村名ヲ寺尾ト云ル事其初メヲ詳ニセス按ニ東寺尾村ノ内
仙鶴山松蔭寺ニ藏スル建武元年ノ寺地ノ圖アリ其頃ハ此寺ヲ正統庵トテ殊ノ外大
伽藍ニテ寺領モ廣カリシト見ユサレハ此寺ノ尾ニ續キシ地ナレハカク寺尾トイヒ
シニアラスヤ北條家分國ノ頃百姓等ニ下セシ文書アリ鶴見村ノ百姓九左衛門カ家
ニ傳フ全ク此村ニアツカル事ニシテ其頃ノサマモ見ユルニ足レリヨリテ左ニ載ス
年歲大普請人足十人鋤もつこと持致中八日用意來六日ニ小田原へ集御普請可
致也一日之末進有之ハ爲過失五日可被召仕者也仍如件
元龜元年北條家虎印アリ
二月二日

寺尾百姓中

年歲正木棟別之事

五字六百五十文□□□□□寺尾每年納辻

此麥五十六俵一斗七升五合一俵別棟原
升三斗五升入此代百文但ハ二斗稱同前

右五月晦日限而可致皆濟若致難澁ハ則小代官名主百姓人々召連小田原へ可參
旨奉行入へ被仰付於此日限一日も踏出事不可有之ハ若又奉行入兆儀等有之
者則時以目安可申上者也仍如件
元龜元年ナリ

庚午四月廿日

寺尾百姓中

去年戊歲檢見辻ニ掛段錢貳貫二百文也當年增壹貫百文相添テ三貫三百文來晦
日切之奉行關新二郎ニ可渡ハ當年御檢見名□可被仰越ハ結勺郷中造作ニ罷成
也入御耳ハ聞止檢見増分被仰付御日限不違持參可申ハ若致無沙汰付ハ入繼
貴牛馬々可引由被仰出狀如件
北條家虎印アリ

亥八月朔日代官

寺尾百姓中

傳馬壹疋可出之但□出家ニ可渡之者也仍如件

天正十年 壬午五月九日

遠山丹波守ナリ 直景花押

江戸 淺草

葛西新宿但是者白井迄

午歳役錢配府

九貫六百卅八文 寺尾棟別錢

拾六貫文 同所穀段錢

以上廿五貫六百卅八文 定納

右每年以米穀可納之當納法百文ニ一斗四升目一俵別三斗六升俵ニ被定訖郷中馬々以玉繩へ届奉行衆ニ可相渡斗手者如相定地下人可斗申升上少も無高下平ニ可斗納若倭取奉行免角申ニ付ハ速ニ可捧目安然ハ棟別者九月十日段錢者九月晦日必可致皆濟此御日限踏出ニ付者一俵ニ三升ツ、以過米可納猶御日限踏出ニ付者奉行人を郷中指越妻子牛馬可取間地頭代官百姓等ニ此所堅爲申聞可相調者也仍如件

午八月廿六日

代官 百姓中

村ノ廣東西十八町南北十一町程東ト西ノ際ニハ小山並ヒタテリ其下民家並ヒ住ス六十五軒里人ノ話ニ云昔北條分國ノ頃ハ農家タ、十八軒ノミナリソレモ小田原へ貢米ヲ運フ勞ニ絶ス次第ニ同郡新宿村へ移レリ今村民十右衛門カ家ノミ彼十八軒ノ内ナリト云東ハ東子安村ニ境ヒ南ハ東西子安村北ハ馬場村西ハ菊名篠原ノ二村ナリ彼古圖ニ其頃寺尾ノ地頭ハ阿波國ノ守護小笠原藏人太郎入道ナリシ事ヲ載ス又系圖ニ據ニ此人藏人太郎長義トテ世ニ聞シ人ナリ又里人云昔此所ハ里見氏ノ領地ナリ今村民九月九日ハ里見氏落城ノ日ナリトテ十九日ヲ以テ佳節トセリ按ニ房州里見氏此邊ヲ領セシ事聞エスサレト村内ニ里見入道ノ館跡ナト云所アレハ戰爭ノ間爰ニ渡海シテ僅ノ地ナキリ取番手ノ要害ナト構ヘシコトモアリシニヤ又按ニ北條家役帳ニ二百貫文久良岐郡寺尾諏訪三河守トアリサレト久良岐郡ニ寺尾ト稱スル地名ナシ且當村ヨリ分レシ馬場村ニコノ人ノ城跡アレハ役帳ニ久良岐郡ト記セシハ全ク謬ニテスナハナ當村ノコトナルヘシコノ村ノ檢地ハ元祿八年安藤對馬守カ承リニテ有シナリ其後新田モ出來テ享保十八年寛播磨守檢地セリ安永八年伊

奈半左衛門ウケタマハレリサレト纒ノ地ナリ又此地ヲ支配セシ輩ハ昔ハ詳ニセス
元祿ヨリ伊奈半左衛門忠順田中休藏喜乘伊奈半左衛門忠達舟橋安右衛門岩手伊右
衛門志村多官師智辻源五部伊奈半左衛門等ウケタマハレリ當時大貫次右衛門ナリ

高札場
小名 駒方村ノ東ノ久保前 是モ東ヨ 宮前 八幡ノ前 ウツロ耕地ニアリ中央

政所 西ノ角 下田 東ニ 猿谷 村ノ異 無谷 東ノ方 立野 東ニ 風早臺 東西寺

安ノ三村 天神久保 村ノ東 眞ノ門 村ノ長 石阿彌陀 駒方ノ並 平臺 村ノ東

溜井 東南ノ隅村境ニモアリ廣五段許是ハ連々埋マリシカハ此水ヲ以テアナカ

水堀 入江川ト唱フ是ハ新宿子安ノ兩村ニテ唱ツル處ナリ北寺尾ノ方ヨリ此村ニテ

天神社 十四年ノ東ノ方ニテサレハ古キモ向ヒ坂ノ上ニ所ハ數株ノ松オヒシケレリ此

末社 稻荷社 傍ニアリ向テ右ノ八幡社 此ノ西寄ニ

八幡社 此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

此ノ西寄ニ

當ニ藏スル別當ニハ武年中其寺ノ地形ヲ違ヒモノ八幡ノ社アルヨシモ今モ此寺
此ノ別當ニハ武年中其寺ノ地形ヲ違ヒモノ八幡ノ社アルヨシモ今モ此寺
古ハ今ノ所アリテモ小祠ヲ建テアリテ今ノ祠ニカナル山ノ麓ニヤ詳ニセリ
ト云今ノ所アリテモ小祠ヲ建テアリテ今ノ祠ニカナル山ノ麓ニヤ詳ニセリ
ス例祭ハ年毎ニ六月二十七日ニ
觀音堂 十一面觀音立像ニ長一尺許ハ東向三間四方村民呼テ退形
右ノ方少シ高キ所ニ石坂アリ夫テ相傳フ昔見義高ト云居二基アリ此社ハ
松蔭寺ノ住職恩海ノ時建立セリト相傳フ昔見義高ト云居二基アリ此社ハ
ヨリ遙ノ年ヲ歴テ村民等シテ疫病ニ罹リテ其頃告シテシテ其ノ後ニシテ
ニモテテ考ヘシニカサマモノ口取リテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ
者集リテ九尺者ヲ四方神明ト云ハテ取リテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ
里見義高墓 觀音ノ堂ニ向ヒ右ノ方ニテモテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ
アリ何ノ願スルカ小兒痘瘡ノ類アリテモテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ
レハ其カシコマニ見テ石ノ數ヲ取テ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ
按ニ里見九代記ニ城ニ實テ石ノ數ヲ取テ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ
人上總國久留里ノ城ニ實テ石ノ數ヲ取テ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ
義明ノ軍ニ及ヒ上總國葛飾郡鴻巣ノ諸將ト云テ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ
織村ニ前ニモ云ヒ此ニ總國葛飾郡鴻巣ノ諸將ト云テ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ
セトハ前ニモ云ヒ此ニ總國葛飾郡鴻巣ノ諸將ト云テ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ其ノ後ニシテ

社 觀音堂ノ後 ○建功寺 觀音堂ノ邊ニアリ 禪宗曹洞派ニテ相摸國愛甲郡富岡村龍
十二年六月九日寂セリ 二世ハ聲菴守聞元和十年正月二十九日示寂ス 本堂七間ニ
六間半慶長十四年ノ建立ナリ 本尊釋迦文殊普賢長イツレモ一尺二寸許 堂ハ巽ニ
向フ 山前ニ石階アリ 高二丈許ナリ 是テ大門口ニ木戸アリ 木戸ノ
外ニ禁制ノ碑ヲタツ 其地山ヲ切通シテ大門口ニ木戸アリ 木戸ノ
ル川ヨリ古トモ見ユス 此寺ノ下ナ
西應寺跡 村ノ東ノ方ニアリ 昔十方山西應寺トテ一寺ナリ 云今ハ廢寺トナリ
テアル 故ナリ 此地トイヘリ 夫ヨリ此寺ノ本尊トナセリトカハル 寺ナレハ昔ノ開基
開山等ヲモ詳ニヒス 東 ○玄蕃屋敷跡 東方村ハツレニモ此所ニ住シトイッ 家老
寺尾村松蔭寺ノ抱ナリ ○玄蕃屋敷跡 東方村ハツレニモ此所ニ住シトイッ 家老
頃カ子孫江戶ヘ出テヒタス 武家ニ仕ヘン
舊家者 百姓次郎兵衛 先祖ハ平田兵庫トテ里見家ノ家老ナリ 系圖古記等モ傳ヘ
子ノ生育スル事ナカリ 後ハ次第ニ生産モ衰微ニイタリ コトニ女子ノミアリ 今ノ
イヤシキ身ニ持傳シモ詮ナシ 且ハ是等ノタリニテモヤアラントテ殘ラス 火中
ニ投セシト云サレハ今證
トスヘキ物タエテナシ

東寺尾村

東寺尾村ハ西寺尾ノ東ナリ 江戸日本橋ヨリ行程六里半許村ノ四境東ハ鶴見村巽ノ
方ハ生麥村南ハ子安村ナリ 西ハ西寺尾村ニ堺ヒ北ハ馬場村ニ交レリ 東西二十町南
北五丁餘家數八十軒村ノ地スヘテ平ヲカナラス 畑多シテ田少ナシ 土性ハ黑野土赤

土砂錯レリ 此村古ヘハ北條家ニ屬セシ 諏訪三河守ノ知トコロナリ 御入國ノ後ハ御
料ニテ伊奈半十郎カ家ニテ代々支配シ 寛保三年ヨリ柴村藤右衛門延享三年船橋安
右衛門寶曆二年ヨリ伊奈半左衛門同三年ヨリ岩手伊右衛門同六年ヨリ志村多宮同
九年ヨリ辻源五郎明和五年ヨリ伊奈備前守寛政四年ヨリ大貫次右衛門カ支配所ト
ナリ 檢地ハ元祿八年安藤對馬守ナリ

高札場

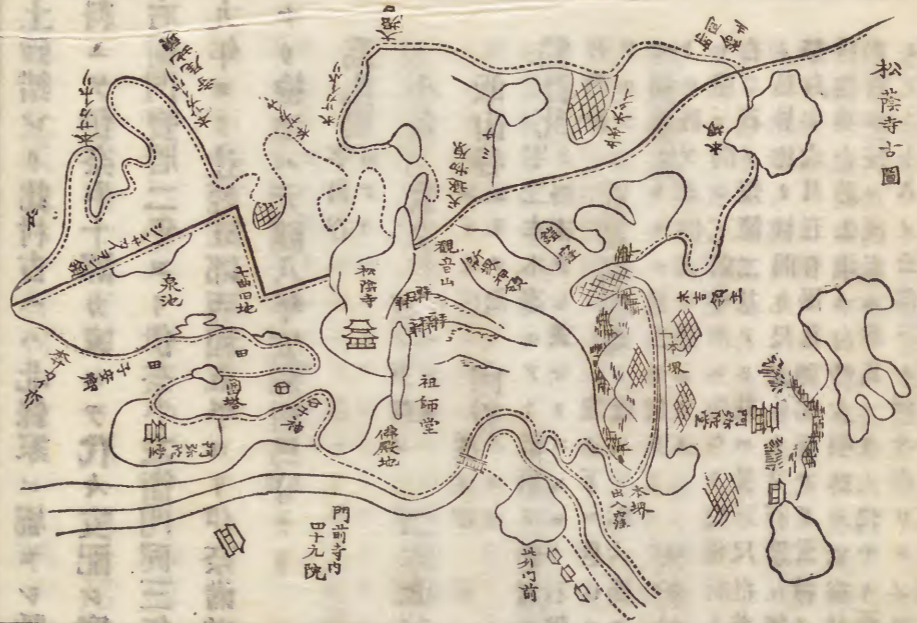
字向谷 二本木谷 寺谷 白幡谷

小名 荒立谷 方ニ東南ノ 二本木谷 東ノ方 寺谷 西ノ方 白幡谷 南ノ方

飯山谷 字向谷 向谷 西ノ方

熊野社 宇二本木臺ニアリ 幣東ヲ神體トス 勸請ノ年代詳ナラス 社地ハ丘ノ中腹ニ
石鳥居 別當弘誓寺 社地ノ下ニ居レリ 新義真言宗ニテ神奈川宿金藏院末慈悲山
ヲシテ 別當弘誓寺 社地ノ下ニ居レリ 新義真言宗ニテ神奈川宿金藏院末慈悲山
ト秘佛ナリトモ詳ナラス 天神社 客殿ニ向テ ○白幡明神社 小名白幡谷ニアリ
トナシ 許サス開山モ詳ナラス 上屋三間 燈籠二基アリ 共ニ長五尺 社前ニ神鏡ヲカク 社左
右ニ石ノ燈籠ニ柱間九尺 夫ヨリ又石階五級テ下ル 此所ヨリ古松數株繁茂セリ 西寺尾
ノ鳥居 建リ柱間九尺 夫ヨリ又石階五級テ下ル 此所ヨリ古松數株繁茂セリ 西寺尾
祭毎年六月五日湯花神樂等アリ 當村ノ鎮守ナリ 社邊ニ古松數株繁茂セリ 西寺尾
村建功寺 過去帳ニ白幡大明神ハ足利氏將軍ナリ 社邊ニ古松數株繁茂セリ 西寺尾
教將軍 接ニ義教ハ尊氏ヨリ六代ナリ 代永享七年六月五日將軍ヨリ城主諏訪勸請ス
トアリ 土人ノ云フ所モ亦カクノ代永享四年伊奈半十郎及名主百姓等ノ名ヲ記セリ 一
文字磨滅シテ讀ヘカラス 一ハ貞享四年伊奈半十郎及名主百姓等ノ名ヲ記セリ 一

松蔭寺古圖



ハ享保十二年伊奈半左衛門同半十郎
等ノ名アリ一ハ近キ頃ノモノナリ
末社稻荷社本社ノ東ニ熊野社祠ニモ小
西方ニ
松蔭寺宇向谷ノ内三角山ト云所ニアリ
長寺末開闢ノ由ヲ尋ヌルニ建長第三
世佛壽禪師退隱ノ後幽棲ノ地トシテ此
書シ境内ノ正統庵ト號セリ今其時代ニ
シカノ禪師ハ文中三ノ寂セシノ事ナ
號ヲ定シハ中興開山僧廣山ノ時ノ事ナ
セルニヤ此僧ハ延寶三年三月二十九日寂
字ニ改メシハ松音寺ト書シカ後ニ今ノ
六間本尊釋迦木ノ立像ニシテ七間半ニ
寸ナルヲ安ス古器寶物等ハ多ク火災ノ
爲ニ失ヒシヨチ云傳フ三十年程前ニ
同シ除土地ノ内東ノ方ヨリ今ノ所ト云
寺寶古圖一枚裏ニ正統庵領建武元口五
アリシト見ユレト
虫食テ讀ヘカラスト

北寺尾村

北寺尾村ハ東寺尾ノ北ニ續ケリ江戸ヨリノ行程モ彼村ニ同シ村ノ四境東ハ鶴見村
及ヒ末吉村ニ堺ヒ西ハ菊名村南ノ方ハ東寺尾馬場ノ兩村ニ接シ北ハ駒岡獅子谷ノ
二村ニ隣レリ東西ヘ十八丁餘南北ヘ五丁餘ナリ家數七十軒村内ニ散住ス當村東ヨ
リ南ノ境ニ傍ヒテ野道アリ古ヘ小机ノ城ヨリ川崎宿ヘノ街道ナリト云田少クシテ
畑多シ土性ハ赤土黒土砂交リ等ニシテ薄土ナリ用水不便ニシテ谷々ノ清水ヲ引テ
耕スユヘニ少シク旱ヌル時ハ忽チ旱損ノ患アリ檢地ハ元祿八年安藤對馬守其後ノ
新田ハ享保十六年寛播磨守ナリ御代官ノ遷替前村ニ同クシテ大貫次右衛門支配所
ナリ

高札場

高札場字澁澤谷
小名 別所谷方ニ東ノ 藤塚耕地同シ邊 八段目耕地南ノ方 ハンメ耕地村
西ヨリ 大久保谷同シ邊 上宮耕地此モ同シ 澁澤谷方ナリ

八幡社小名上ノ宮耕地ニアリ神體ハ木ノ立像ニシテ長九寸許社前ニ石燈籠二基
居テ立例祭年々八月十五日當村ノ 末社稻荷社本社ノ異ノ 太子堂此モ異ノ方
鎮守ニテ馬場村寶藏院ノ持ナリ 向ッ石ノ坐像ニ ○稻荷社小名澁澤ニアリ神體木ノ立像ニシテ長八
シテ長九寸許 ○熊野社別所

新編代官紀上七高

宗泉寺 右衛門上宮云者寛文十一年正月十三日寂ス此寺モト草庵ナリシテ當村ノ末正市

右ニ老松繁茂セリ神體ハ木ノ鳥居ヲ建ツ又三十四級ヲ登ル左

宗泉寺 右衛門上宮云者寛文十一年正月十三日寂ス此寺モト草庵ナリシテ當村ノ末正市

セリ開山念譽相心寛文十一年正月十三日寂ス此寺モト草庵ナリシテ當村ノ末正市

十級ヲ登リテ客殿ニ至ル南向ニテ五間半四方本尊彌陀木ノ立像ニシテ長三尺

安阿彌ノ 觀音堂 二尺ナルヲ安ス堂ハ一間半ニ立像 阿彌陀堂 小名別所ニアリ

作ト云 觀音堂 二尺ナルヲ安ス堂ハ一間半ニ立像 阿彌陀堂 小名別所ニアリ

享保元年六月百姓地ノ内へ建立スト云宗泉寺モト云 ○藤塚 村良ノ方藤塚耕地ニ

アリ土地高キ所ニシテ殊ニ眺望ヨクハ富士山モ見ワタサ ○十三塚 邊ニアリ半

丁許ノ間ニ塚十三アリヨリテ土八十三 塚ト云大少不同ナリ其來由ヲ詳ニセス

舊家者百姓五左衛門 先祖與十郎ト云者文龜元年八月朔日細河高庫ヨリ軍功ノ賞

傳ヘリ高庫ト云ハ字ノ誤ナルニヤ疑フヘシサレハサシテ證トスヘキニ非レト舊

家ナルコトハ論ナカルヘシ彼興十郎當村ニ移リシヨリ名主役ヲ勤メテ天文八年

卒ス其子孫市右衛門ト云者寛文中當村ノ宗泉寺 ヲ開基シ又享保元年ニ阿彌陀堂ヲ建立セシモノナリ

東子安村 西子安村 新宿村

東西子安新宿ノ三村ハモト一村ニシテ元祿ノ頃ヨリ今ノコトクニ別レシカハ民ノ

居住ハタ耕地等モ皆入會ニシテコ、カシコニ別レテアレハ四至等モ正シク區別ス

ヘカラスヨリテ今三村ヲ合セ云ニ西北ノ兩面ハ山丘多クシテ白幡篠原西寺尾東寺

尾ノ四村ニ接シ田畑ミナ山丘ノ方ニアリ東ハ生麥鶴見ノ二村ニ犬牙シ南ハ海岸ニ

臨メリ坤ノ方ハ神奈川宿ニ塚ス南北ノワタリ十五六丁東西モ同シ此村ハ東海道ノ

往還ニシテコトニ賑ハヘハ三村ノ民簷ヲ連テ左右ニ並居テ農人ノ身ナカラ商家ノ

業ヲ兼テ生産ノ助トナス其内新宿ニ獵師多クツトヘル故東西子安漁戸ノ賦稅モ新

宿ニテ司リテ納ト云且新宿ニ言文字ノ極印アル船四十七艘アリ東海道村内ヲフル

コト十五六丁東ノ方生麥村塚ヨリ坤ノ方神奈川宿塚ニ至ル道幅平均四間餘ナリ江

戸日本橋マテ行程凡六里餘田畑大ヤツ等分ノ地ナレトコマカニイハ、畑ノ方少シ

ク多シ土性ハ海邊モトヨリ砂地ニテ陸田谷田ハ野土ナリ水路甚不便ニシテ常ニ天

水ヲ待テ耕種スヨリテヤ、モスレハ旱損アリ此三村元神奈川郷ト云今土人ハ神奈

川領トノミ稱セリ寛永二十一年ノ檢地帳ニモ神奈川領ト記セリ是モ小机百八ヶ村

ノ一ニシテ古ヘハ小机庄ト唱ヘシナレト今ハ其稱ヲ失ヘリ小田原役帳ニ葛西様御

新編武蔵風土記

高野郡

十一

奈半左衛門田中久藏菅沼安十郎ナト支配セシヨシナハ傳フントツノ連綿タル所ハ
詳ニセス今モ大賀次右衛門カ御代官所ナリ檢地ハ寛永二十一年ニアリシヨシ今西
子安村ノ里正六左衛門カ家ニソノ時ノ檢地帳ノ寫ヲ傳ヘタリマタ元祿八年安藤對
馬守檢地スト云其後東子安ノ内ニ新墾ノ地出來シカハ享保十八年寶曆十一年明和
七年等新田ノミノ糺アリシト云

高札場 東海道ノ往還東子安村
内ニアリ三村組合持

小名 四軒町 東海道ノ往來ナリ 片原町 四軒町ノ並ニシテ是又海道ノ往還ニア
保村ノ坤ノ方ニアリ此所ニ堰一ヶ所アリ上郷ヨリ來レル惡水ヲ堰留テ用水
大口 邊ナク云 面龍 村ノ北 風速 臺 村ノ東 打越 則風速ノ並ニアリ 二谷 越

八段目 是又風速 溝下 並ナリ 大日坂 字面龍ノ並ニアリ是モ三村入會ノ
林 松ノ木其餘雜木生茂リ十一町六段 〇大日坂 地ナリ此名ノ起リヨコ付里人妄誕
ノ説ヲ傳レト取ヘキ

入江川 水元ハ西寺尾村白幡村篠原村等ノ所々ヨリ惡水落コミ西寺尾村ノ堀ヨリ
邊ハ岸尤高クシテ氷 〇足洗川 白幡篠原馬場西寺尾等ノ村々ノ谷間ヨリ惡水落コ
田ニハ沃キカタシテ氷 〇足洗川 白幡篠原馬場西寺尾等ノ村々ノ谷間ヨリ惡水落コ
平均一間餘モト惡水堀ナレハミカサマ流トナリ八町八信スヘカラスヨリテ愛
足洗トイヘルコト起リモ土八言傳フルコトアレント尤信スヘカラスヨリテ愛

ハ省 溜井ニケ所一ハ字打越ニアリ長六十四間横四十六間一ハ字二ノ谷ニアリ
分ニ 〇土橋 入江川ニ架ス橋ノ長八間東海道ノ往還ナ
ナレハ私ニヒサコトニ味モ美ナレハ昔ヨリ名産トシテ賞セリ

土産于海鼠 此村ノ百姓長右衛門ナルモ代々是ヲ製シテ業トセリ此事公ニモ御
子安一宮明神社 岳ノ上ニアリ方ニ數十級ノ石階チ登リ社前ニ至レリ本社ハ三間ニ四
三村共ニ當社ヲ以テ鎮守トセリ石階ノ下ニ石ノ鳥居チタツ九月初日ヲ例祭トス

別當ヲ遍照 末社三峯社 本社ニ向テ右 菴 本社ノ側ニアリ昔ハ作リモ大ナリシ
院トイヘリ 〇牛頭天王社 本堂ニ北ニアリ勸請ノ年代知ス神輿ハ遍照院ノ
立セシ年歴詳ナラス 〇神明社 字溝下耕地丘ノ上 〇愛宕社 百餘ノ家

日還興 〇天神社 村ノ東ノ方丘上ニ 〇神明社 字溝下耕地丘ノ上 〇愛宕社 百餘ノ家
ノ頂ニアリ 〇第六天社 入江川土橋ノ南ニ 〇神明社 字溝下耕地丘ノ上 〇愛宕社 百餘ノ家
小祠ナリ 〇第六天社 入江川土橋ノ南ニ 〇神明社 字溝下耕地丘ノ上 〇愛宕社 百餘ノ家

兵衛ナルモ私ニ勸請スル 〇神明淡島相社 是モ海道往還ニアリ元來神明ハ伊豫
所ナリ社ハ二間四方ナリ 〇神明淡島相社 是モ海道往還ニアリ元來神明ハ伊豫
カ先祖五十年前淡嶋ヲ配祀セリ夫ヨリ後ハ却テ淡嶋ノ社ヲ以テ專稱シ大原河原

子安村 神職荻原伊豫 吉田家ノ門人ナリ元祿二年ヨリ此社 〇稻荷社 海道民屋ノ
ニ屬ス 神職荻原伊豫 吉田家ノ門人ナリ元祿二年ヨリ此社 〇稻荷社 海道民屋ノ
テアリ社ニ間ニ一間半前ニ鳥 〇蛭子社 海岸ニアリ本社一間半ニ一間三間ニ

住ス彼共ニ東向村内藥王寺持 〇蛭子社 海岸ニアリ本社一間半ニ一間三間ニ
神功皇后三韓退治ノ時海上平安ノ祈ノ爲武内宿禰ニ勅シテ彫刻セシメ西ノ宮ニ

新編武藏風土記 橋村郡卷一

納メ給ヒシ所ナリ文治年中鎌倉將軍家ノ命ニヨツテ相州ノ内ニ移シ奉ル元弘ノ
兵亂ノ時菊田カ先祖藤原歳明此尊像ヲ守リ奉リ亂ヲサケテ此所ニ移シ奉ル元弘ノ
邊ノ人民次第ニ崇敬シ奉リ遂ニ此所ヲ神奈川新宿ト呼シナリト云々以上ニ社新舊ニ
シコトニ賑ハビシカハ遂ニ此所ヲ神奈川新宿ト呼シナリト云々以上ニ社新舊ニ

本慶寺ノ末子安ノ内海道ニアリ往還ヨリハ少シク引コメリ日蓮宗ニテ池上本門寺
本門寺ノ第四世日山弘通道場ノ除地ハ二段六畝十歩トアリ寺寶 日山自筆曼陀
羅一幅 日蓮筆一幅 番神堂ニ間ニ三門アリ 稻荷社 居山ノ頂ニア
東子安ノ内海道ヨリ少シク北ノ方ヘ入テアリ古義眞旨宗ニテ同郡鳥山村三會寺
末ナリ密嚴不動峯ト稱ス開山ノ基ヲ云客殿十四間半ニ五間半本尊不動立像ニテ
三日寂セリ是ヨリ前ノ世代ハ知ノスト云客殿十四間半ニ五間半本尊不動立像ニテ
長二尺許作傳ヘス此寺往昔ハ村ノ鎮守一宮社地ノ邊ニアリ由其頃ハ山號ヲ安
入山トイヘリト云御入國ノ後今ノ 稻荷社 ○相應寺 引道ニテ淨土宗ニテ神奈川
所ニウツセリト門ハ巽ニ向ヘリ 稻荷社 ○相應寺 引道ニテ淨土宗ニテ神奈川
慶雲寺ノ末三吉山惠光院ト稱ス客殿七間四方ニテ東向本尊阿彌陀
立像ニテ長三尺五寸作知レノ開山秀譽文龜三年八月十一日寂セリ 鐘樓 門ヲ入
三年ノ銘アリ 庚申堂 是モ門ヲ入テ右ニ置 石地藏 門外ニテアリ長三尺
方ニ銘アリ 庚申堂 是モ門ヲ入テ右ニ置 石地藏 門外ニテアリ長三尺
街道ニアリ往還ヨリ四十間餘引イル古義眞旨宗同郡鳥山村三會寺ノ末醫光山ト
稱ス客殿七間ニテ六間本尊ハ藥師長三尺許坐像ナリ開山鳥山開基詳ナラス前住ノ名ノ
傳ルモヨリテハ覺僧ト云僧コレ正保四年十一月廿五日寂セリ ○西蓮寺 街道ノ往還
セリト是ヨリ前ノ世代ハ知レノ開山秀譽文龜三年八月十一日寂セリ ○西蓮寺 街道ノ往還
宗ニテ村内大安寺ノ末開山開基詳ナラス中興開山ハ念稱ト云享保ノ頃ノ人ナリ
ノ地蔵長二尺五寸ナルヲ安ス此像モ元銅像ナリシ頃ノ本尊トテ阿彌陀長一尺五寸ノ立
後ニ今ノ石像ヲ置シヨシ又當寺盛ノナリシ頃ノ本尊トテ阿彌陀長一尺五寸ノ立

像アリ作詳ナラス又千手觀音ノ坐像ハ長二尺ノ木像ナリ土人ノ話ニ往昔此所
ニ辻堂ノ如キ草菴アリシカ後神奈川ヨリ西蓮寺ト云廢院ヲ爰ニ引テ一字ノ寺ト
セシヨシ今ニ神奈川新町ノ裏通ナリト云 浦島塚 境内ニテアリ昔ハ沙地ナレハ年
運テ耕地ト呼ソ今ハ凡二畝許ト題セリ 古碑一基 浦嶋家ノ傍ニテ見ユ ○大安
上ニ五輪ノ石塔ヲ建テ浦嶋塚ト題セリ 古碑一基 浦嶋家ノ傍ニテ見ユ ○大安
寺 海道ニテ往還ヨリ少シク引コメリ日蓮宗ニテ池上本門寺
リテイマタ再建ナラス本尊ハ阿彌陀一尺四寸ノ坐像 ○閻魔堂 是モ新舊ノ内海道
ナリ作詳ナラス相引コメリト云客殿十四間半ニ五間半本尊不動立像ニテ
往還ヨリ三十間餘引コメリト云客殿十四間半ニ五間半本尊不動立像ニテ
寸許作知レノ三間餘引コメリト云客殿十四間半ニ五間半本尊不動立像ニテ
稻荷社 二間四方閻魔堂ノ傍ニ並立リ今ハ摩滅シテカタチ定カナラス土人四方
佛ノ手洗鉢トイヘリ村民孫右衛門カ先祖海保某カ寄附セシト云
舊家者名主源右衛門 東子安村ニ住ス氏ヲ飯田ト云舊家ナリトイヘト其事歴ヲ傳
トミルヘシ其 文左ニ載ス

御方中足輕此方成敗子安へ打越及狼籍在郷者ニ無謂事申懸ハ急度可致注進
者堅可加制詞者此趣加藤彈正忠方へも文遣ハ謹言
卯月十二日 永蒼軒 東永花押

飯田太左衛門介 庶善者百姓四郎兵衛 東子安村ニ住ス父ハ四郎左衛門ト云ソレカ四男ナリ兄等ハ

新編武蔵風土記 高橋村

新編武蔵風土記

シニ四郎兵衛コレニ仕フルコト又マメヤカナリサレハ孝行ノ聞エアリシニヨリ
ヤカテ村内舉リ見モシ聞モシタル其行狀ヲ具ニシテ訴ヘシカハ其事イサハ
カタカハサルニ定リ褒賞ヲ加ヘラル四郎兵衛ニ白銀三枚ヲ賜ヒ父四郎
左衛門ヲハ養フヘキ料トシテ日々ニ五合ツハノ米ヲ終身賜ヒシトシ

馬場村

馬場村ハ郡ノ中央ヨリ南ニヨリ古ハ寺尾村ノ内ナリシニ中古寺尾ノ一村東西北
ノ三ニ分ナシ時當村モ同ク分レシトナリ村名ノ起ハ小田原北條ニ屬セシ諏訪三河
守カ此地ニ居城ヲ構ヘシ時ノ馬場アリシ跡ナルニヨリカク呼ヘリト今ニ村ノ東境
ヨリ東寺尾村ニカ、リテ其跡殘レリサレト正保ノ頃迄モ當村ハ分ラサリシニ其後
ヨリシテ今ノ如ク村名ニ呼シト見ユ江戸日本橋迄行程七里許家數四十九軒ハ多ク
谷間ニ散住ス村ノ廣凡東西ヘ二十丁南北四丁ニ餘レリ東ハ下末吉村ニテ西ハ西寺
尾村ニ隣レリ南ハ東寺尾村ニシテ北ノ方ハ北寺尾村ニ界ヒ坤ノ方ハ子安村ニ交レ
リスヘテ平ナラスシテ丘ニハ畑多ク谷ニハ水田多シ土性黒野土或ハ赤砂錯レリ御
入國ノ後伊奈氏世々支配シ其後御代官ノ次第ハ辻源五郎志村多官齋藤喜六郎菅沼
安十郎中村八太夫支配ニワタリテ今大貫次右衛門支配ナリ檢地ハ元祿八年安藤對
馬守ナリ其後享保十八年寛播磨守檢地シテワツカノ新田ヲ開墾ス
高札場 村ノ東字馬場谷ニアリ

小名 馬場 村ノ東ニ今馬場跡アリ故 池ノ谷 村ノ中 綿内谷 村ノ西 藏畑谷
良ノ方 相久保 村ノ南ノ 大谷 村ノ方ヲ云 上瀬谷 村ノ西ヨリ

用水 村内容々ヨリ出ル清水ヲ引
稻荷社 正一位相國稻荷ト號ス相國ノ文字イカナル故ト云コトヲ知ラス馬術ヲ學
信ヤカテ相國ノ號ヲ與ヘシト云土人ノ話ニ寶永ノ頃子安村ノ人當社ノ神木ヲ買
取コトヲ恐レ近隣舉テ村内ニ社ヲ建テ祈請シテ神罰ヲ免ルト云今ニ遠近ノ人信
仰スルニ必ス利益アリトナリ社地ハ百姓地ニシテ神罰ヲ免ルト云今ニ遠近ノ人信
間南ニ向フ小高キ山ノ半腹ニアリ麓ニ牛頭天王社ニ向テ東ノ 稻荷社 社ニ向
方ニアリ以 ○神明社 字池ノ谷ニアリ南ニ松樹並立リ石ノ鳥居アリ例祭年々九月
上ハ末社 寶藏院 持

寶藏院 村ノ巽ノ方ニアリ新義眞言宗神奈川宿金藏院末愛宕山延命寺ト號ス開山
五石五斗ハ總鎮守愛宕免神奈川領ノ内寺尾村寶藏院トアレハ其頃ハハヤ一寺ト
ナリシコト論ナカルヘシ客殿九間半ニ五間半坤ニ向ッ本尊大日本ノ坐像五寸許
ナルヲ 十王堂 門ヲ入テ左ニ愛宕社 客殿ノ後丘上ニハアリ本地大日本ノ坐像五寸許
安ス

觀音堂 村ノ中央ニアリ堂九尺ニ七尺長ニ向ヘリ本尊ハ今東寺尾村
城蹟 小田原北條家ニ屬セシ諏訪三河守カ居城ノ跡ナリト只雜木ノミチハ茂レリ小
田原家ノ所領役帳ニ二百貫文寺尾諏訪三河守トアリ又小田原記ニ武州寺尾ノ住人
諏訪右馬助ノコトヲモ載セ西寺尾村ノ建功寺ノ舊記ニハ彼村ニ建ル白幡明神ハ

十四

永享七年六月五日寺尾ノ城主諏訪勸請ストアリ是モ三河守カ祖先
ナルヘシ是ニヨレハ永享ノ頃ハハヤタナシ城ナルコトモ知ラル
ヨリ東寺尾村ニカハレリ彼三河守
居城ノ時馬場アリシ跡ナリト云

菊名村

菊名村ハ馬場村ノ北ニツ、ケリ郷庄ノ唱ヲ傳ヘス小田原家人所領役帳ニ増田某カ
知行小机葛名開ト記セリ此邊葛名ノ地名ヲ聞カス且葛ト菊ト字畫似タルカ上ニ小
机ヲ冠シタレハ恐ラクハコ、ノ事ニテ菊名氏ノ開キシ事ナルヘケレハ開發ノ年歴
モ推テ知ルヘシ村ノ四境ナイハ、東ハ馬場西北寺尾ノ三村ニ堺ヒ北ハ大豆戸太尾
ノ二村ニ接シ其形ハ帶ノ如ク長キ村ナレハ東西ヘハ纔ニ五丁南北ヘ一里許民家ハ
二十軒村内所々ニ散在セリ土地ハ高低ノ所多シ土性ハ野土ニ黒真土交レリ水田多
ク陸田少シ昔ハ御料所ニテ正保ノ頃ハ伊奈半十郎支配シ元祿八年安藤對馬守檢地
セシ事アリ其後寶永三年久志本左京ニ賜リシヨリ今モ其子孫ノ知ル所ナリ

高札場

- 小名 九段田耕地 村ノ西 宮苅 是モ西 宮脇 是モ同シ
- 木八耕地 是モ乾ノ 鏡坂通 北ナ 宮谷 是モ北 寺口谷 村ノ中 籠久保谷 村ノ東南
- 和田前 乾ノ方 柳

溜井

溜井 西南ノ隅ニアリ廣二丁一段一畝餘土人菊
八幡社 請ノ始ヲシラス隣村大豆戸村本乘院持 ○神明社 村ノ東ヨリノ丘上ニ

法隆寺

法隆寺 村ノ東ニアリ蓮福山ト號ス日蓮宗 房州長狭郡小湊誕生寺ノ末開山日出
三十番神堂 九尺ニ二間 蓮光寺 村ノ南ニアリ淨壽山ト號ス日蓮宗 菅原郡池

堂

堂 門ヲ入テ右ニ ○蓮勝寺 村ノ西ヨリニアリ菊名山喜樂院ト號ス淨土宗 小机村泉
ノ草創ヲ舊シトハ斷スヘカラス客殿六間 四方南ニアリ阿彌陀ヲ本尊トス長二尺

大豆戸村

大豆戸村ハ郡ノ西南ノ方ニ當リテ神奈川宿ノ西北一里餘ニアリ土人ノ藏セル元和
二年ノ記録ニ多東郡小机保内大豆戸ノ郷トアリ去レト多東郡ハ多磨郡ノ條ニ辨セ
シ如ク多磨川東ノ義ナレハ元ヨリ誤レルコト辨テマダス此ノミニ非ス神奈川宿ノ

妙仙寺及慶雲寺へ賜ヒシ天正十九年ノ御朱印ノ文ニモ田東郡トアリ此餘御入國初
ノ頃ノモノニハ郡ヲアヤマレル事多シモト土人ノ誤シマ、ニ從ヒテ筆者ノ記セシ
モノト見ユ小机堡トイヘハ昔ハ小机ノ庄ニ屬セシカ保ハ保伍ノ義ナリ中古以來庄
園郷保皆唱ノミニシテ其實ヲ失シヨリ或ハ庄ト云或ハ保トイフモノ多シ今ハ郷庄
ノ唱ヲ失ヘリ村名ノ由テ起ル所ヲ詳ニセス其四境ハ東ノ方菊名新師岡ノ二村ニ隣
リ西南ハ篠原村ニ接シ北ハ太尾村ニ堺ロ西北ノ間ハ鶴見川ニ限リテ川ノ向ハ都筑
郡新羽村ナリ東西十四丁南北十一丁村内大底平地ニシテ水田多ク陸田ハ東南ノ方
陵ニ續キタル所ニ少ク開ケリ土性ハ黒野土或ハ黒土ヘ砂錯リテ穀物ニヨロシカラ
ス又百姓持ノ林村内所々ニ散シテアリ合テ三丁七段八歩ト云此村開墾ノ年歴ハ傳
ヘサレト永祿二年改メシ小田原家人所領役帳ニ小机大豆津二十五貫文ノ地ヲ小幡
勘解由左衛門領セシ由記ス津ト戸トハ通シテ同唱ナリ此頃ハ已ニ開ケシ事知ラル
御打入ノ後ハ御料所トナリ伊奈半十郎支配セシカ延寶年中隣村篠原村ナト、同時
ニ酒井河内守へ賜シニ其後元祿十一年八月高尾阿波守諏訪中之助ノ二人替リテ賜
レリ今モ此二人カ子孫高尾學之丞諏訪中之助カ知ル所ニシテ其餘纒殘シ地ハ御料
所ニシテ御代官太貫次右衛門光豐カ支配ニ屬セリ檢地ハ元和二年晝間清左衛門大

塚藤兵衛植木善左衛門關口外記四人カ承リニテ檢セシヨシ村ノ記録ニ見エタレト
是等ノ姓名御旗本ノ士ニハ聞ユサル所ナレハ恐クハ別ニ檢地ノ奉行アリテ其家人
ニテモ有ヘシ其後延寶六年酒井河内守檢地シテ租稅ノ數ヲ定メシト云是ハ己カ所
領ニ賜ヒシヨリ後ノ事ナルヘシ其後新墾ノ畑有シニヨリ明和五年池田喜八郎檢地
セリ家數ハ四十三軒ナリ

高札場二ヶ所一ハ村ノ西北往還ノ内十字ヲナセル所ニアリ
小名 安山村ノ東ノ方太尾村境ヘヨリテアリ 寺坂前ノツ、 櫻田中央ヨリ 反町前ノ續ニテ少 窪
田是モ同シ方ニテ少ク シヤクシ南ノ方鳥山川 瀧坂乾ノ隅 八段野北ノ村
渡り場中央ヨリ少ク 西
鶴見川村ノ西都筑郡ト當郡トノ境ヲ流ル南ノ方篠原村ヨリ流レ來リ ○鳥山川鶴
川ノ堤ノ東ニ從ヒテ流ル小川ナリ村内ニ ○用水堀東南ノ方菊名村ノ溜井ヨリ
カハルコト凡八百八十間川幅ハ三間ニ餘レリ ○用水堀引來リ村内ニ入テ二派トナ
リ一ハ東北ノ方ハ流レニハ西北ヘ ○水除堤村ノ西鶴見川ト築カレトノ間ニ 派トナ
流レテ其左右ナル水田ニハ西ハ ○水除堤村ノ西鶴見川ト築カレトノ間ニ 派トナ
篠原村ノ境ヨリ北ノ方太尾村 ○水除堤村ノ西鶴見川ト築カレトノ間ニ 派トナ
ノ接地迄長サ二百六十間アリ ○水除堤村ノ西鶴見川ト築カレトノ間ニ 派トナ
八王子社村ノ東南用水堀ノ邊ニ 鎮守ニシテ古松茂リテ古長四百七十間ナリ
○羽黒社同シ邊ノ丘上ニ 前ニ木鳥居一基ヲ立百姓持 ○杉山社西南ノ方丘ノ上ニ

新編武藏國志

例祭ハ毎年九月二十日篠原村觀音寺持
 本乘寺 村ノ東南八王子社ノ側ニアリ日蓮宗京都妙滿寺末大寶山ト號ス本尊三寶
 所ニシテ開山ハ日蓮ト云天文二十三年北條家麾下ノ士小幡伊賀守泰久カ起立スル
 開基泰久討死ノ時屍ヲ境内ニ歸葬セシト云ヘト今ハ墓石ナクレハ其所ヲ知ラズ
 三十番神堂 客殿ノ右ニ九尺〇正覺院 村ノ西南ヘヨリテアリテ末ニ號ス禪宗曹洞
 堂ト云文祿元年五月十二日寂ス客殿ニテ隣村篠原ノ内東林寺ノ末ニ號ス禪宗曹洞
 五間半ニ四間半本尊正觀音ヲ安置ス〇不動堂 村ノ東ニ四間半ニ四間半ニ三間
 小幡泰久屋敷跡 村ノ東南八王子社ノ西ヘ續キタル所ナリ今ハ皆陸田トナル一段
 ハ小田原北條ノ家人ニテ今當村ノ古記ニ載ル所ヲ見ルニ永祿九年五月十六日豆
 州土藏野合戰ノ時討死セリ年六十七歳ト云ヘリ土藏ハ倉カ或ハ徳倉ノ誤ナル
 シナルヘシシツレヨリ子孫太郎左衛門ト云天文ノ頃ノ人ト云コノ政勝ハ今御旗本ノ住小
 幡監物カ先祖ナリ

太尾村

太尾村ハ郡ノ西ノ方ニテ都筑郡ノ堺ニアリ古ハ小机領師岡庄ト唱シカ今ハ其唱モ
 ナシ古クヨリ村内ヲ三ツニ分テ私ニ上中下ヲモテ稱セリ江戸日本橋ヨリ行程七里
 許家數上ハ十三軒中ハ十六軒下ハ三十七軒アリ東ハ菊名大豆戸ノ二村ニ隣リ西ハ
 都筑郡新羽吉田ノ二村ニ及ヒ南ハ又大豆戸ニ接シ北ハ大曾根村ニ續ケリ東西十五
 丁南北五丁餘地形北ノ方ハ山ニテ南ノ方ハ平カナリ田畑相半シ水旱共ニ患アリ當

村モ古ハ小机ノ領主笠原某カ知行セシ所ナリト云傳フ御入國ノ後上中ト唱ル所ハ
 御領トナリ伊奈半十郎カ家ニテ預リ奉リ夫ヨリ御代官交ル支配シテ今ハ大貫次
 右衛門カ御代官所ナリ下ノ方ハ御料及ヒ村内龍松院領朝倉織部カ知行相交レリ檢
 地ハ寛永二十一年伊奈半十郎命ヲ蒙リ又寶永六年酒井河内守檢地ヲナセリト云

高札場

西北ノ隅ニタテリ

小名

觀音耕地 方ノ東ノ一ノ坪谷 是モ東ノ根通 北ノ方山

鳥山川

村ノ西ノ方ヨリ來リ辰巳ノ方ヘ流ル幅三間半村内ヲ〇鶴見川 村ノ西ノ方

二間

〇土橋 鶴見川ニ渡ス長十〇溜井 畝許是ヲ以テ用水トス〇堤川 西ノ方鳥山

天満宮

村ノ良ノ方ニアリ村内上ノ方ノ鎮守ナリ石階十七級ヲ登リ又三十級ヲ一

尺許是ハ村内觀成院ニ暫ク移シ〇熊野社 鎮守ナリ北ノ方山ノ上ニアリ村内中ノ方ノ
 木ノ立像ニテ長六寸許鳥居アリ以テ與行ノ年目毎ニ稻荷社 社ニ向テ左ノ神明社 北
 祭ルト云丑巳酉ニ當レル年ヲ以テ神體ハ木ノ立像ニテ寶珠ト録トナリ持タル石
 ノ方ニ大松一株アリ傍ニ鳥居ヲタツ神體ハ木ノ立像ニテ寶珠ト録トナリ持タル石
 色ノ熊ナリ村内歡成院ニ祭メ置レリ〇八幡宮 村ノ北ノ方ニアリ三ノ山ノ半腹マテ石
 祭前ニ同シク子辰申其祭年ニ當レリ〇八幡宮 村ノ北ノ方ニアリ三ノ山ノ半腹マテ石
 テ其上ニ社ヲ建九尺四方鳥居ニ當レリ〇八幡宮 村ノ北ノ方ニアリ三ノ山ノ半腹マテ石
 色ヲ施セリ例祭是モ五年目毎ニ祭ル卯未亥ノ年ハ其祭ニアタレリ〇杉山社 村

ハ江戸日本橋ヲ距ルコト七里村ノ四境ナイハ、東ハ菊名大豆戸ノ二村ニ境ヒ南ハ六角橋村或ハ神奈川宿ニ接シ西ハ岸ノ根島山ノ二村ニ向ヒ北ハ都筑郡ノ内新羽村ニ交リ又郡内大豆戸村ニモ及フ村内ニ地頭林ト云モノ一所二丁一段餘百姓林三十箇所所ニ散在シイツレモ松杉ノ外雜木生茂レリ合セテ八丁三段六畝餘ナリ民家百一軒土性陸田ノ方ハ黒土砂土ニテ水田ハ野土黒砂土交リ水田多ク陸田少シサレトヤ、モスレハ旱損ノ患アリ延寶ノ頃ハ酒井河内守カ所領ナリコノ頃ヨリ御料私領ウチ交リシ所トナリテ同キ年ノ七年ニ酒井氏此地ヲ檢セシ事アリ寶曆四年岩手伊右衛門同九年志村多官天明四年飯塚伊兵衛等檢地ヲナセシト云酒井氏ハ何ノ頃カ所ヲ替賜リ正徳年中新見伊豫守ヘ賜レリ御料ハ御代官ノ遷替モ許多アリテ今ハ大貫次右衛門支配所トナリ此外新見七右衛門ノ知行交レリ

高札場ニアリ

小名 原田町 西方ノ耕 谷田 南方アリ 新田 東方ナリ 會下谷 南方アリ 寺ハモト會下寺ト唱サレハ其門前ニ此名有シト昔コ、ニ會下寮アリシナラン 蛇フク 西方ノ耕 坊街道 會下谷ノ邊ナリ彼會下寮ヘ僧侶ノ往來セ 表谷 東方アリ 堀ノ内 東方アリ 富士塚谷 間テ云 榎本谷 同シアリ 城山 北方ノ村境ニアリ金子十郎ノ城跡ナルコトハ後ニ出セリ

鶴見川 村ノ北ノ方當郡ト都筑郡ノ界ヲ流ル鳥山村ヨリ東方大豆戸村ニ通セ

○鳥山川 村ノ西方ヲ流ル是モ大豆戸村ニ入テ鶴見川ニ合セリ ○根川 川ト云ハ溝ノ堀ナリ是モ岸ノ根村ニヨ

○土浮川 村ノ内所々ノ小流トナリ村内ニテ鳥山川ニ合セリ

○逆水除樋 北ノ方ニ尺六寸横一四間 ○溜井 内ノ用水トナリ

八幡社 小名會下谷ニ四ノ方ノ覆屋アリ鎮座ノ年歴ヲ傳ヘスコノ所ハ村内若宮八幡社ノ舊地ナリト云村

○若宮八幡宮 例祭十一月二十日本社東向拜殿ヲ許ナルヲ安セ

内東林寺ノモナリ

○觀音寺 村ノ北ニアリ新義真言宗神奈川金藏院ノ末八幡山ト號ス天正十八年ノ開

長福寺 古義真言宗本願山ト號ス鳥山村三會寺ノ末開山ト號ス曹洞派天動

光今ニカ 大モカ 禪靈回 定験ノ 門イナ 口永ハ 十ルキ 一年キ 八月云 十一日ト 日向ノ 東向ニ 向マテ 眞光ノ 一如居 士天正 二年十 月十五 善

日トエリタル五輪ノ墓アリ村民九右衛門カ先祖ノ墓ナルヨシ九右衛門ハ増田氏ニテ先祖ハ彼篠原合戦ノ墓アリ此地ヘノカレ來リシト云ヘハ年代大ニタカヘリイ
 ハンヤ篠原合戦ノ墓アリ此地ヘノカレ來リシト云ヘハ年代大ニタカヘリイ
 コトクシタシカニ考フヘカレサルヲヤル
 州鎌倉新居閣魔ハ世ニ知レル所ナリ故
 ニ堂邊ノ坂ヲ後世カク名ツケルニヤ
 大塚村ノ東畑ノ中ニ事アルヨシ高丈許ノ徑四間許コノ塚ノ傍テホレハタマシ永樂
 塚ナリコトハ今ヨシ
 ○與五郎塚大塚ノ往昔村民與五郎ト云者入定セシ所ト云ヘリ
 古城跡子村ノ北ノ方ニモアリ金子十郎家忠ノ子孫ト云家忠居住ノ地ハ多磨郡金
 ノ代官金子出雲カ壘趾ナトハサモアルヘキカ形モ殘レリ
 僅ニ四五段許ノ芝地或ハ斷岸ノ所アリテカホリノ家人金子出雲ノ子孫ナ
 舊家者百姓九兵衛リ金子ノ先祖ハ金子十郎家忠ヨリ出ルヨシ傳レトモ舊記テ失ヒ
 タレハ定
 カナラヌ

新編武藏風土記稿卷之六十七終

新編武藏風土記稿卷之六十八目錄

橋樹郡之十一

神奈川領

岸根村

鳥山村

羽澤村

坂本村

三枚橋村

小机村

和田村

佛向村

常田村	常田村
小幡村	小幡村
三ツ井村	三ツ井村
...	...

新編武藏風土記稿卷之六十八

橘樹郡之十一

神奈川領

岸根村

岸根村ハ郡ノ西ノ方ニテ都筑郡ノ境ニヨリテアリ江戸日本橋ヨリ行程七里古ハ小机庄ノ唱アリシヨシ今ハ郷庄共ニ名ヲ失ヘリ村名ノ義ヲ尋ルニ此邊ミスマ耕地トイヘル水田アリ土地打ヒラケ水モ多クタヘテヨノツチノ水田トハ其サマ違ヘリソレナイカニト云ニ古ハ此邊惣テ沼ナルニヨリテシカリト云當所ハ其沼ノ岸ニソヒタル根ナリシユヘコノ名ヲ得タリト此村四方ノ界域モ狹ケレハ往昔ハ小机ト一村ナリシヤナト土人ハイヘト其シルシトセルコトハナシ東ハ篠原村南ハ六角橋片倉ノ二村ニ接シ西ハ三枚橋鳥山ノ二村ニテ北ハ又篠原村ニ隣リ東西十四五町南北八町民戸二十八軒土性ハ黒土ナレトモ粘リアリテ眞土ニ似タリ水田及陸田チナヘタイハ、等分ナリ村内ニ古ノ鎌倉街道トイヘルアリミスマ耕地ノ方ヨリイリ片倉村ノ方ヘ通セリ此村舊キコトハ惣テ傳ヘス延寶七年檢地セシヨシ其時ノ水帳ヲ見ルニ福岡次兵衛倉本市兵衛本多六兵衛半田作兵衛後藤勘兵衛小林彌五右衛門トイ

ヘル六人ノ名ヲ記シタリ是其時檢地ヲ承リシ人ノ手ニ屬セシモノナルヘシ元祿十一年八月此所ヲ諏訪惣十郎へ賜ハリソレヨリ續テ今モ子孫中之助カ知行ナリ

高札場 村ノ中央
小名 清水谷 南ノ方
丸山下 南ヨリ
關下 西ノ方
深ドブ 北ノ方
島ドブ 北ノ方
榎戸 北ノ方
廣町 東ヨリ
内田 中央
宮下 東北ノ方
大蛇臺 南
原田

山榎 北ヨリ
砂田 中央
清太塚 清太トイヘルハ人名ナルカシカランニハ
琵琶橋 西北ノ間川崎道ニシテタル夫等ノ墳ニ架セリツカニ丸木ニ本ヲモテツタ
カノ溝ナリシニ折節盲人ノ來リシカ渡ルヘキ橋ナカリシユヘ負タル琵琶ト又云
出シ是ヲ便ニ渡ラントセシカ誤リ落テ死セシカハ此名ヲオヒタルトナリトサレ
ハ携ヘシ琵琶ヲ賊ノコトヘステ去シヨリ起リシ名ナルニ害セラレタルナリトサレ
ハ怪我アリト云ル時 ○用水堀 村ノ西ノ方ニ堰アリ長二間幅八間鳥山村ヨリ引
杉山社 東北ノ方境ノ山上ニアリ隣村篠原觀音寺ノ持社ハ二間ニ三間南向是ヨ
鳥居ヲ立接ニ杉山神社ハ式内ノ神ニシテ古ヨリ近郷都ノ地ニ坐ストキハ愛ノ
請セシナルヘシ當社ニ寛永十八年六月ノ棟札アリ時ノ御代官伊奈兵藏別當觀音
寺トモ造立セシヨシテ納メタルコト棟札ハイマ篠原村トキ始テ田間村境ニカ傳テ
モ觀音寺ノモナレハ愛ニ納メタルコト棟札ハイマ篠原村トキ始テ田間村境ニカ傳テ
失ヘ 山王社 村ノ東山王山ニアリ社前ニ木ノ ○蛇骨神社 北方ノ田間村境ニカ傳テ
蛇袋トイヘル所ニ蛇ヲ殺シ持來リテコトハ埋メソト此祠ヲ建タルト内小名
傳ヘニ當村開闢ノコトヲ射テ矢ノ落タル處ヲ村境トセント射タリゲルニ此處

三枚橋村ハ郡ノ南ニアリ小机庄ニ屬ス江戸日本橋ヘハ八里ノ行程ナリ民家二十六軒村ノ廣狹ハ東西ヘ十町餘南北二十町許東ノ方ハ片倉村ニ接シ西ハ羽澤村ニ及ヒ

南ハ神奈川宿ノ内帷子町ニテ北ハ鳥山村ニツケリ惣テ當村ハウケ開ケタル平地ナレト西北ノ丘ノ方ニヨリテハ少ク高低アリ陸田多シテ水田少シ檢地ハ延寶七年

酒井河内守改昔ヨリ御料所ニシテ今御代官大貫次右衛門光豐支配ス百姓林七箇所スヘテ十町三段餘ナリ又南ノ方當村ヲ隔飛地一町程アリ

高札場 西ノ方羽澤村
小名 天屋 下式和名鈔等郷名ノ内ニ店屋トノセタルハ此邊ナランカ殊ニ青木
町ヨリハ程近ク全文字モ後ニカキ違ヘシ物 八反町 祭神戸 石井谷 向天
カ村民コノアタリ昔ノ鎌倉道ト云傳ヘリ 山王森 祭神戸ノ
屋 坤ノ方ヲ云前ノ小名天屋下 牛道根谷 東ヨリ

三枚橋村ハ郡ノ南ニアリ小机庄ニ屬ス江戸日本橋ヘハ八里ノ行程ナリ民家二十六軒村ノ廣狹ハ東西ヘ十町餘南北二十町許東ノ方ハ片倉村ニ接シ西ハ羽澤村ニ及ヒ

南ハ神奈川宿ノ内帷子町ニテ北ハ鳥山村ニツケリ惣テ當村ハウケ開ケタル平地ナレト西北ノ丘ノ方ニヨリテハ少ク高低アリ陸田多シテ水田少シ檢地ハ延寶七年

酒井河内守改昔ヨリ御料所ニシテ今御代官大貫次右衛門光豐支配ス百姓林七箇所スヘテ十町三段餘ナリ又南ノ方當村ヲ隔飛地一町程アリ

高札場 西ノ方羽澤村
小名 天屋 下式和名鈔等郷名ノ内ニ店屋トノセタルハ此邊ナランカ殊ニ青木
町ヨリハ程近ク全文字モ後ニカキ違ヘシ物 八反町 祭神戸 石井谷 向天
カ村民コノアタリ昔ノ鎌倉道ト云傳ヘリ 山王森 祭神戸ノ
屋 坤ノ方ヲ云前ノ小名天屋下 牛道根谷 東ヨリ

三枚橋村ハ郡ノ南ニアリ小机庄ニ屬ス江戸日本橋ヘハ八里ノ行程ナリ民家二十六軒村ノ廣狹ハ東西ヘ十町餘南北二十町許東ノ方ハ片倉村ニ接シ西ハ羽澤村ニ及ヒ

南ハ神奈川宿ノ内帷子町ニテ北ハ鳥山村ニツケリ惣テ當村ハウケ開ケタル平地ナレト西北ノ丘ノ方ニヨリテハ少ク高低アリ陸田多シテ水田少シ檢地ハ延寶七年

酒井河内守改昔ヨリ御料所ニシテ今御代官大貫次右衛門光豐支配ス百姓林七箇所スヘテ十町三段餘ナリ又南ノ方當村ヲ隔飛地一町程アリ

高札場 西ノ方羽澤村
小名 天屋 下式和名鈔等郷名ノ内ニ店屋トノセタルハ此邊ナランカ殊ニ青木
町ヨリハ程近ク全文字モ後ニカキ違ヘシ物 八反町 祭神戸 石井谷 向天
カ村民コノアタリ昔ノ鎌倉道ト云傳ヘリ 山王森 祭神戸ノ
屋 坤ノ方ヲ云前ノ小名天屋下 牛道根谷 東ヨリ

三枚橋村ハ郡ノ南ニアリ小机庄ニ屬ス江戸日本橋ヘハ八里ノ行程ナリ民家二十六軒村ノ廣狹ハ東西ヘ十町餘南北二十町許東ノ方ハ片倉村ニ接シ西ハ羽澤村ニ及ヒ

南ハ神奈川宿ノ内帷子町ニテ北ハ鳥山村ニツケリ惣テ當村ハウケ開ケタル平地ナレト西北ノ丘ノ方ニヨリテハ少ク高低アリ陸田多シテ水田少シ檢地ハ延寶七年

大平權現社村ノ東ニヨレリ麓ノ鳥居ヨリ山路ヲヨチノホルコト二町アマリニシ
例祭年々九テ本社ニ至レリ社ハ七尺ニ九尺委ヨリハ近郷ノ數村ヲ眼下ニ望メリ
月十六日 ○神明社村名祭神戸ノ丘上ニアリ社ハ一間半ニ二間西向ナリ村民ノ
ト云

三寶寺小名山王森ニアリ淨土宗小机村泉谷寺末客殿四間ニ五間西向ナリ本尊三尊
ラシ

鳥山村

鳥山村ハ昔佐々木四郎左衛門尉高綱カ馬飼料トシテ當所チ右大將頼朝ヨリ賜ハリ
シ時一族鳥山左衛門ト云モノヲ目代トシテ此地ニ置シヨリ起レル村名ナリト云或
ハ傳フ左ニハアラス村内三會寺ノ邊水田ノ間ニソコハクノ陸地アリテタトヘハ田
中ノ島トモ云ヘキモノナレハ島ノ字ヲ分チテ村名トセリトコノ説モイト迂曲ニシ
テウケカダシトカク別ニ故アルコトナラン佐々木カ事ハ猶舊跡ノ條ニ辨シタレハ
アハセ見ルヘシ此地ハ三枚橋岸根等ノ西北ニアリテ猶北ノ方ハ小机村ニツ、キ西
ハ菅田村ニ隣レリ東西十一町南北十町ニ餘レリ江戸日本橋チ距ルコト七里餘戸數
ハ七十一軒ニシテ大抵西ノ方八幡社ノ邊ニアツマリ住セリ水田多クシテ陸田ハ少
ナシ土性ハ黒土赤土交レリ又百姓持ノ林アリスヘテ二十二箇所ニシテ段別二町二

段八畝十三歩アリ此邊昔ハ武藏野ニ屬シテ水田モ開ケサリシニヤ東鑑曆仁二年二
月十四日甲寅ノ條ニ武藏國小机郷鳥山等ノ荒野ヘ水田ノ開發スヘキ由大夫尉泰綱
ニ命セラレシコトアリ此泰綱ハ高綱カ兄定綱カ孫ナレハカレニ新墾ノ命アリシモ
故アルニ似タリ又東鑑ニヨレハ小机郷ト唱ヘシコトモシラル遙ノ後小田原北條家
役帳ニ載ル所ヲ見ルニ三郎景虎カ知行百二十四貫七十文小机鳥山トアリ今モ小机
庄ニ屬ス村内三會寺ニ藏スル慶長五年ノ棟札ニ多東郡小机保内鳥山郷トアレト當
所ハ多磨郡ニ接シタル地ニアラサレハ彼郡ニ屬スヘキニアラス全記者ノ謬ナルコ
ト論ナシ御入國ノ後御料所ニシテ正保ノ頃ハ伊奈半十郎忠治支配セシ由記セシモ
ノアリ土人云此邊ニ酒井河内守カ舊領ノ地アマダアレハ當村モ其領地ナリシナラ
ント河内守此邊ヲ賜シハ延寶七年ナリ其後常憲院殿ノ御時酒依清左衛門某ト歌學
ノ宗匠北村季吟トニ賜ハリシカ季吟カ寶永二年ニ願ヒアケテ其嫡孫湖元及ヒ末孫
並藏季住ニワカチ讓レリ今ソノ子孫文孫季文及ヒ善兵衛季惟知行セリ酒依カ子孫
ハ今ノ清左衛門昌道ニ至ルマテカハラス此餘村内三會寺領アリ又鶴見川流作場ト
號シテ纔ニ陸田二畝アリ是ハ御代官小野田三郎右衛門信利カ持添ノ御預カリ所ナ
リ

高札場 三箇所アリ一ハ字池ノ下ニアリ一ハ

小名 馬場 村ノ巽ノ方ナリ昔々々々高網カ館ア

道齊 村ノ方 島北所ナリタ 八幡下コレモ北

根崎 同邊 向判下卯ノ方 前判下丑ノ方 馬込方ノ

堤根 方ノ 堤根方ノ 堤外邊 稻

鳥山川 水元ハ三枚橋羽澤等ノ村々ノ山谷ヨリ出ル

幅二間ヨリ四五間ニイタル末流ハ鶴見川

所アリ鳥山川ノ水除堤ナリ長四間馬踏三四間

六尺一ハ鶴見川ノ水除堤ナリ長四間馬踏三四間

八幡社 村ノ北ニヨリテアリコノ社アリ故ニ字ヲモ

石階 二八級アリ前ニ西藏院持シテ 末社辨天社

西ノ村内西藏院持シテ 駒形社 生喰トイヘル駿足ノ

形ノミナリテ 稻荷社 字稻荷モトニア 稻荷社 字池ノ

三會寺 所アリ是ノ昔ハ字馬場トイヘル所ニアリシト

日ノ寄附セテナリト云其時ノ文ニ武州郡小机庄鳥山

將頼朝建立ノ密場ニシテ紀伊國高野山法性院ノ末寺

所ハ等海ニテシテ後印融ノ住僧ノ名ハ傳ヘテ中興ス

氣含英特具志節大師ノ再自來ナリト云僧住職シテ

練業成主無量光院品藻宗教筆削著志嘗關左密法之

寺性好讀書或赴外請必駕小牛鞍著文卓行誦且吟東

述凡數百卷行于世云又當寺ノ末都築郡觀護寺ノ傳

ニテ同村舊城寺ノ住職トナリ其後所々へ移轉シテ

德ノ住セシカハ當寺ノ法燈モイヨク立ヤキ行基菩薩

寺寶 愛染像一軀一寸許ノ坐像ナリ弘 經文一卷

鐘銘 彌勒堂門ヲ入テ左ニ立アリ間四方御入國ノ

年ニ落成セリ棟札左ニ載ス

新編武藏風土記稿 村田郡卷十一

シテ此頃ヨリ改テ蛭田ト名ノルトン當所ノ觀音モ地藏ト同シク織部ヘ附屬セラレシトナリトイヘリ又此堂ヲ守リシ道心者光心道西等二人コノ像ノ加護ヲ得シコトナリトモ ○百姓茂左衛門 高邊氏ニテ常州佐竹家ノ庶流ナリ先祖ハ蛭田織部カ一記セリ ○百姓茂左衛門 族ナリシユヘ其頃ヨリ久シクコノ地ニ住セリ系圖ヲ閱ルニ佐竹冠者下野守某カ男高部將監義村トイヘリ佐竹左馬頭義治及右京大夫義愛ニ仕フ永正十七年八月十二日卒セリ年六十五其子内記義元モ佐竹義舜義篤ノ二代ニツカヘシカ天交十二年七月窪田合戦ノトキ討死セリ其後子孫コノ地ヘ歸リ住セシト見ユ

小机村

小机村ハソノ名ノヨリテ起ル所ノ來由トソノ地ノヒラケシ年代トナ詳ニセス中古ヨリ郷名トナリテ古キ唱ナリ己ニ郷名ノ條ニモ辨シタレハアハセシルヘシ此村ハ郷庄等ノ名由テオコルモトナレハ土人ハサシテ本郷ト呼ヘリ又西ノ隣村ニモ今見ニ本郷村アリコレハ都筑ノ地ナレトモ村内ニツ、キタル地ナレハ古ハ通シテ一村ナリシカ其地ハ郡ノ中央ヨリ坤ノ方ニアリテ都筑郡ノ地ニツ、ケリ江戸日本橋ヨリ七里餘ノ行程ナリ家數百五十二軒東ノ方ハ鳥山村ニ隣リ西ハ都筑郡本郷村ニ接シ南ハ下菅田村ニテ北ハ都筑郡川向村ナリコノ所ハ鶴見川ヲ界トセリ東西二十町南北八町半村内スヘテウチ開ケテ平地多シ土性ハ陸田ハ黒土ニシテ多ク砂交ハレルモノナ上トス黒真土ヲ中トシ赤土ヲ下トス水田ハ多クシテ深田ナリサレト用水ノカ、リアシケレハ旱損ヲ患フサレハニヤ五穀モ實ノ遅キ種ナエラヒテウユルト

云當所ハ大永享祿ノ頃小田原北條家ノ侍笠原越前守信爲世々領シテシカモ在城セシ地ナリ按スルニ小田原家人所領役帳ニ堂村某カ知行十貫文ハ小机四間在家コノ餘三郎景虎知行小机本郷トアルハ隣村本郷村ノコトナルヘシ四間在家ハ村内ナルヘケレトモ今イツレノ地ナルコトナシラス天正十八年小田原没落ノ後ハ御料所ニテソレヨリ葉山久彌ニ賜ハレリ葉山系譜ニヨルニ久彌勝綱元和二年台徳院殿ニツカフマツリ武州小机郷ニオイテ領知ヲ賜フトイヘリ然ルニコノ地不熟ノ地タルニヨリ其由ヲウツタハテ廩米ニカヘ賜ハルトコレマタ其譜ニ載タリソノ後ハ伊奈半十郎忠治支配セシカ又酒井河内守忠學ニ賜ヘリ此後再ヒ御料所トナリシ頃支配セシ人ノ姓名ヲ傳ヘス遙ノ後ニイタリテ志村多官辻源五郎池田喜八郎久保田十左衛門飯塚伊兵衛江川太郎左衛門伊奈半左衛門菅沼安十郎中村八太夫伊奈友之助等カハルニ支配セシカ今ハ小野田三郎右衛門カ御代官所ナリ外三百七十六石餘ハ諏訪仲之助カ知行スル所ナリコノ餘雲松院泉谷寺本法寺等ノ寺領交ハレリ檢地ハ延寶七年酒井河内守寶曆九年ニハ新墾ノ陸田四段一畝六歩ノ地ヲ志村多官檢地セリコノ後マタ陸田九畝二十四歩ノ地ヲ開キシニヨリ明和五年池田喜八郎檢地セリ又林アリ古城跡ノ邊ヲ初トシテ所々ニ散在セリ惣テ十丁餘雜木ノ林ナリ是等ミナ御

林及ヒ地頭林ト百姓持ノ林ナリ當村今ハ此郡ニ屬スレト古ハ都筑郡ニ屬セシト云
サレト證トスヘキコトナシ但郡界ニアル村ニハカクノ如キ例多ケレハ當所モシカ
アリシナラン

高札場 二箇所一ハ村ノ中央ヨリスコシ西ニ此邊ヲ土俗ニ氷流ト云御料所ノ高札場ナ

小名 寺屋敷 或ハ本法寺屋敷トモ云昔其寺ノアリシ所ナレハカクモヘリ今ニ
ラスト 野脇方ナリノ 三角田 金剛寺 愛宕下 巽ノ方ナリ昔愛宕ノ社 伊勢原
或ハ十三塚トモ呼フ何人ノ印ノ塚ナ 水流 北ノ方ヘヨリ 宮下 住吉ノ社ノ下

鶴見川 本郷村ノ方ヨリ流レ來リテ北ノ境ヲスル 東ノ鳥山川 村ノ東ニヨリ村内ニ
間ハカク 五六橋 鶴見川ニ架ス此所ノ宇チ野ノ脇ト云此五六トイヘル名チヒシハ
リナリ

用水堀 用水トナセリ長十二町ハカリノ引テ田間ノ溜井 村ノ北ノ方ニヨリ其廣サ一段
ハカリノ溜井 地ナリ長三十町ハカリノ溜井 村ノ北ノ方ニヨリ其廣サ一段

地ナリ 溜井 地ナリ長三十町ハカリノ溜井 村ノ北ノ方ニヨリ其廣サ一段

西ヨリ 溜井 地ナリ長三十町ハカリノ溜井 村ノ北ノ方ニヨリ其廣サ一段

水トス 溜井 地ナリ長三十町ハカリノ溜井 村ノ北ノ方ニヨリ其廣サ一段

アリ 溜井 地ナリ長三十町ハカリノ溜井 村ノ北ノ方ニヨリ其廣サ一段

年トイフ 溜井 地ナリ長三十町ハカリノ溜井 村ノ北ノ方ニヨリ其廣サ一段

シトイフ 溜井 地ナリ長三十町ハカリノ溜井 村ノ北ノ方ニヨリ其廣サ一段

今新羽村ト當村ト組合持ナリ

八箇村組合持ナリ

惡水吐 宇鳥山川通ニアリ長二千七百十七間幅二間ヨリ三間ハ

山川 惡水吐 宇鳥山川通ニアリ長二千七百十七間幅二間ヨリ三間ハ

大會根等ノ八箇村組合持ナリ

太神宮 村ノ西南ノ方ニ丘トテ上ニテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

吉社 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

末社 稻荷社 本ニ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

白山社 古ノ城跡ト云

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

雲松院 宇宮原ト云所ニハ向テテアリ古木社アルテ以テ此ノ木ヲ伊勢原ト呼ヘ

哮ノ時當所へ移シタリ故ニ寺號ヲ神太寺トモ乾德寺トモ號ス
トイヘリ又云此順ノ事ニ奇異ノ談アリ此境内昔ハナヘテ池ニシテ龍蛇ノ
スミカナリシヲ和尙カノ龍蛇ヲ得脱セシメ池ヲ埋メテ當寺ヲ移セリ
然ルニ第五世玄宗ノ時カノ龍蛇ヲ出見セシメ和尙賜テ移シテ今ハ
忽チ小蛇トナリシヨリ捕ヘテ末時ナル江ノ市ケ谷長龍寺ニ贈リテ
今ニ彼寺ノ寶物トセリト云慶長四年六月八日東照宮此地ニ於テ
寺領二十石ノ御朱印ヲ賜ヘリ本堂十一間ニ七間東向ナリ雲松院
ノ三字ヲ掲ク心越ノ書ナリ本尊ハ虚空藏木ノ坐像ニテ長八寸餘門
ハ兩柱ノ間一丈許ニテ臥龍山ノ扁額ハ月舟ノ筆ナリコノ門ニ向テ
右ノ方ニ通用門アリ一鎗一筋笠原信爲ノ子某納メシ所 古文書六通
大抵北條家ヨリノ文書ナリ其文左ノ如ク

制札

右於當寺中門前共ニ竹木切取事堅令停止畢并橫合非分申候輩有之擲取笠原平
左衛門ニ可相渡者也仍如件

永祿四年 辛酉閏三月廿三日

高井大炊助 奉之

雲松院

鳥山之内神臺地雲松院分指地指出

貳丁壹反大七十步

田數

分錢拾貫九百卅二文

反別五百文宛

七段小四十步

畠數

分錢七百四十四文

秋成 反別百文宛

四百八十二文 同六十五文宛

以上拾二貫百五十八文 定納 總合貳拾九貫八百文

役錢之儀ハ寺ニ而可被仰出候也

元龜二年 壬申

久米玄蕃助花押

十一月朔日

武 圖書助花押

中田加賀守花押

雲松院領

代官 百姓中

當夏中被置江湖之由尤ハ自然聽衆之者於寺中致狼籍輩有之者則注交名可被申
越若又至候時喧嘩口論ニレるてハ即時ニ四人衆ニ可被申斷候定而其沙汰可申
付者也仍狀如件

天正四年ナリ 丙子三月十六日

雲松院

雲松院寺領之内他寺へ引由聞届候誠無是非次第ニ候抑彼寺領爲如何他寺之綺可有之候自今以後少成共脇へ引由聞届候者彼寺領取放可申候爲其以印判申定者也仍如件

十二月五日

沼上 奉之

右熊野堂五貫文者早雲寺殿御茶湯爲分永代寄進申者也代官之事者沼上藤右衛門ニ申付候何時も從寺家可有御催促候爲後日仍如件
享祿二己丑年十二月十三日 笠原越前守信爲花押

雲昌院 參

雲松寺貴報

貴札令披見仍雲松寺山之儀卯年御地掟ニ拙者ふとわけ鳥山之郷へ付ひを百姓口上之由蒙仰繩之刻田地之境をたて中人山林之儀一圓さかいて不申御寺之儀ニかさらす於小机筋山林之儀さかいて立申事一郷も有ましくひ恐々

謹言

極月五日

大河内金兵衛

大金兵花押

鐘樓 門ヲ入テ左ニ出ス
銘文左ニ出ス

臥龍山鐘銘

夫法界聖凡三途六道皆由人一念之所成。舉世而言之。則有陰陽晝夜之分。在人而言之。有迷悟聖凡之別。蓋以我佛垂慈。教齊六合。無分天上人間。惟以利生爲事。然而種種隨機導利。有情同圓覺性。故又設鐘聲佛號。拔濟沈淪。稱其功德。曷勝言哉。茲有武州都筑郡小机庄根古屋郷臥龍山雲松院住持別峰者。曹洞之末孫。太原派下。遠州高尾石雲院之門葉也。於是歲壬戌暮春。積衆緣開鑄銅鐘。斯鐘以就。并新建立樓門。而施鐘於其梁。因質余銘而記之。

銘曰

舉世皆暗 惟鐘是明 聲傳法界 響徹幽冥 幽處聞鐘 幽處皆明
明通幽處 幽處無形 聞而返聞 行願速成 不聞而聞 菩提自生
思遍六道 利極四生 無盡含識 俱登化城
東阜心越杜多稿

于時天和龍集玄默

闍茂季春如意珠日

臥龍山雲松禪院

現住宗靜代置之

笠原越前守信爲墓 本堂ノ後ノ山ノ半腹ニアリテ世々ノ石碑ト並立リ五輪ノ石塔
ニイヘル如シ此人祖先ノ出ル所ノ世系今考フヘカラス此墓モ昔ハ神太寺村ニアリ
其子孫ヲ記シタルハトカシク信爲ノ没セシ時當所ヨリ南西ニアリタ
ル下管田村ノ地ニテ茶毘ノ信爲ノ墓ニシテ今ニ其地ヲ道慶カトイヘリ
○泉谷寺 南字ノ西
谷ノ領十五石ノ御宗都知恩院末山ナリ今ニカハラスト云サレト其文ニヨレハ先規ノ
寺領十五石ノ御宗都知恩院末山ナリ今ニカハラスト云サレト其文ニヨレハ先規ノ
如ク寄附セラレシヨシト云人ナリ古キ寺院ニテ開山見譽ハ弘治二年八月二
日寂セリ開基ハ二宮織部正ト云人ナリ古キ寺院ニテ開山見譽ハ弘治二年八月二
氏綱ノ後奈長院ノ勅ニヨリテ飯沼ノ弘經寺ニ轉セリ三代目看譽鎌倉光明寺ニ移
住セリ元和八年正月七日火災ニ什物舊記皆失セリ此寺郡界ニ跨リテ庫裡ノ方
ハ都筑郡ニ屬シ本堂ノ方ハ桶狭間郡ナリ故ニ寺ニテハ都筑郡ニ屬ストモイヘリ
鐘門間四方銘文アリ左ノ方ニアリ二

蓋聞捷推功大德只非告聖衆兼報惡趣拔苦所以慰呢吒主脫劍輪攷於鐘聲若此妙
用不足勝計矣于茲武州都筑郡小机之庄内松龜山泉谷寺十二世重譽以同門衆助
力并十方檀那加合鑄華鯨一口潤重苦群類者也銘曰

一鐘扣擊中百八安塵躬眠消海鑄響夢禁山岳風

祝日 火德將軍聖衆

今上皇帝聖躬萬歲 檀那本命元辰星

昔延寶五丁巳年大呂念日

願主尊社重譽上人典鶴大和尚

大工相州萩野住

木村外記重則

木村太郎衛門吉重

八幡社 門チ入テ左ニアリ境内ノ鎮守ナリ二間ニ前ニ鳥居ヲ立ナリ神體ハ木ニテ
觀音堂 是モ同邊ニアリ三間四方木ノ立像ナリ地藏堂ハモ同邊ニアリ石地藏三尺
小堂 門西ニ向ヒテ植タルコト右ノ方ハ高キ地ニシテ左ノ方ハ耕田ナリ道ノ左
土人櫻木門アリ前ニ石階十一級アリ行ケ 通用門 同シナラヒ右ノ方
ハ冠木門アリ前ニ石階十一級アリ行ケ 通用門 同シナラヒ右ノ方
ニ文九日蓮宗荏原郡池上本門寺末長秀山ト號ス開山日純ハ本山ノ第九世ニシテ
時ニ慶安元年三月二十一日寂ストイヘリ御當代ニ至リテ寺領五石ノ御朱印ヲ賜ヘリ
堂 門テ入テ左ニアリ長八寸中間四方宗祖日蓮ノ木像 鐘樓 門ニ入テ右ニアリ銘文ヲ彫ル 祖師
二間神體ハ共ニ長八寸中間四方宗祖日蓮ノ木像 鐘樓 門ニ入テ右ニアリ銘文ヲ彫ル 祖師
五寸許作知ラス 寺寶 日蓮消息一通 塔頭 顯性坊 門前ニ年月ヲ傳ヘス ○金

小机城蹟圖



剛寺村ノ中央古城蹟ノ下ニアリ村内雲
 ト號ス閑關ノ末寺ニテ曹洞宗ナリ醫王山
 五日トノミ傳テ年月ヲ傳ヘス昔ヨリ巷
 大室ニテワツカニ僧住職ノ頃ヨリ寺ナ
 リ○成就院宇愛宕山下ニ三會寺末如意輪山ト
 號ス本尊ハ開基ナリトイヒ傳フレト一且
 長年中ノ開基ナリトイヒ傳フレト一且
 回祿ニアヒテス○長幅院五六橋ノ傍
 テ傳ヘテ失ヘリス○長幅院五六橋ノ傍
 土宗ニテ泉谷寺ノ持ナリトイヒ傳フレト一且
 尊トス堂ハ西向ニテ
 四間ニ三間半ナリ
 修驗ニテ不動ヲ寶院宮ノ觸
 下ナリ不動ヲ寶院宮ノ觸
 小机城蹟村ノ中央ヨリスコシ西ノ方ニ
 クリ東ノ方大手ノ跡ト云ハ今モ打ヒラ
 テ呼フ坂アリ其跡ト云ハ今モ打ヒラ
 テ高キ臺アリ此所ハ本丸ノ跡ト云ハ今モ打ヒラ
 ハ本丸ノ内ト云ハ此所ハ本丸ノ跡ト云ハ今モ打ヒラ
 此城一名飯田城ト云ハ此所ハ本丸ノ跡ト云ハ今モ打ヒラ
 菅田村ニ飯田城ト云ハ此所ハ本丸ノ跡ト云ハ今モ打ヒラ
 人笠原氏世々居城ナリトイヒ傳フレト一且

ヨリノ城小机城ニ鎌倉大草紙ニ文明十年豐嶋勘解由左衛門雨上杉ノ爲ニ攻
 レ九子ノ城小机城ニ鎌倉大草紙ニ文明十年豐嶋勘解由左衛門雨上杉ノ爲ニ攻
 カ守所ノ小机城ニ鎌倉大草紙ニ文明十年豐嶋勘解由左衛門雨上杉ノ爲ニ攻
 ヲリ世ノ亂ニテ道灌攻シトアリ又諸家系圖及ヒ太田家傳等ノ書ニハ道灌少年
 寄手ハ小勢ナリケレハ軍兵ノ多テ先習ノ初ニ進ミ戦ヒシカハ途ニ城ヲ攻テ
 シテ曰善ク兵ナリケレハ軍兵ノ多テ先習ノ初ニ進ミ戦ヒシカハ途ニ城ヲ攻テ
 以テ士卒ニシカハ士卒ニシテ機ヲ得テ先習ノ初ニ進ミ戦ヒシカハ途ニ城ヲ攻テ
 シトイヘリ此前ニイヘル頃ナリ道灌ハ文明十八年討レケルモ同ノ事ナレハ道
 灌己ニ五十歳ニ及ヘル頃ナリ道灌ハ文明十八年討レケルモ同ノ事ナレハ道
 ナ初陣ノ時ノコトナルヘシ又手習ノハシマナト云ハカラス此城責恐クハ別ニ道
 弱ナルト其年代ハ考ルヘシ又手習ノハシマナト云ハカラス此城責恐クハ別ニ道
 シナルヘシ又宗牧カ東國紀行天文十三年三月三日ノ下ニ云ケルカマヘタリト云々
 又按ニ中葉諸城主及ヒ關東古戦録等ノ書ニハ北條左衛門佐氏堯モ當城ニ在城ヒ
 左衛門ヲシテ合戦セシメテ笠原茂氏ニ屬シテ在城セシナルヘシ
 邊スヘテ氏堯ノ領地ニシテ笠原茂氏ニ屬シテ在城セシナルヘシ
 舊家百姓九兵衛沼上ヲ氏トス原美作守カ家人沼上出羽守カ子孫ナリト云沼上
 ト舊記古器等今○百姓加左衛門九畝木ヲ氏トス除地三段○百姓十右衛門野呂氏ナ
 地三段九畝木○百姓六右衛門九畝木ヲ氏トス除地三段○百姓十右衛門野呂氏ナ
 九步ヲ所持ス○百姓六右衛門九畝木ヲ氏トス除地三段○百姓十右衛門野呂氏ナ
 二步加左衛門以下四人ノ先祖ヲ小机ノ四人衆トテ北條家分國ノ頃土著セン侍ナ
 リト云物ヲシテカミ地士ノ組合テ軍務ニアツタルモノヲ三人衆ト云コト小田原役帳ニモ見
 其頃ノ天正十八年小田原陣ノ時秀吉ヨリアタヘシ衆ナト云コト小田原役帳ニモ見
 十一

傳ヘリ又先祖ノ佩刀ナリトモ
イツレモ古刀一腰ヲ藏セリ

相摸國 小机庄之内四人衆拘分

一軍勢甲乙人等監妨狼籍事

一放火事

一對地下人百姓非分之儀ヲ掛事

右條々堅令停止訖若於違犯之輩者速可被處嚴料者也

天正十八年四月日 大間秀吉印アリ

各右之向人也者共小机之事案内有之ハ間口に可被成尋ハ是ハ何もふれ口之
事ハハ、貴所へこゝひても御々ハ此外不々

態々ハ仍小机筋々ふれ口之者案内之趣條さるハあわちの口つのかミ藤井惣兵
衛す、き近江かの四人之者郷中へハかへハハハ、様子御尋可被成ハ爲其如此
ハ入ハ恐々謹言

八月一日

加々甚十
政秀花押

神彌五助御宿所

カハル舊家ナレハ正徳ノ頃マテハ夫役ノモノヲ指揮セシトイフ其頃ノモノトモ
伊奈半左衛門カ家人ヨリ八足ノコトヲ云ヒオコセシ狀ナトテ藏ス又四人トモニ
除地ヲ抱ユルコトハ延寶七年檢地ノ時秀吉ヨリノ制札ニ四人衆抱分ト
アルヲ以テコトサテ彼等カ所持ノ地ヲ除地トハ定メラレシトイヘリ

羽澤村

羽澤村ハ郡ノ西南ニアリ村名ノ起ル所及ヒ郷名ヲ傳ヘス是モ小机庄ニ屬スル地ナ
リ江戸日本橋ヨリ行程八里ニ餘レリ村内惣テ平ナラス南北二方ノ境ハ丘ニシテ此
邊陸田多シ水田ハワツカニ谷間ニアリ其餘山林許多アリ土姓ハ黒野土或ハ砂交レ
リ東ハ三枚橋村ニ鄰リ南ハ程谷宿ノ内惟子町ニ接シ西ハ都筑郡河島上星川上菅田
ノ三村ニ界ヒ北ハ下菅田村ニ交レリ東西十六町餘南北十三丁餘民戸惣テ三十六軒
所々ニ散在ス御入國ノ後正保ノ頃ハ御代官伊奈半十郎預リ奉リ元祿年中ニ至テハ
間瀬吉太夫支配スト云ノミニテ其餘ノ事ヲ傳ヘス今地頭ハ酒依清左衛門ナリ先祖
某享保年中ニ賜ハル所ナリト云檢地ハ寛永九年伊奈半十郎糺セリ延寶七年酒井河
内守知行ノ時モ内檢地ナト云コト有シ由チ土人イヘリ

高札場 村ノ中央字具
行谷戸ニアリ

小名 具行谷戸 村ノ中央ヲ云此村ノ里正喜兵衛ト云カ先祖ニ具行ト云人アリ
夫ヨリシテ今ニ此ワタリノ字トナレリ具行カコトハ同郡ノ渡

田村ニ其舊記ヲ 犬吠田谷戸 南ヨリ
傳ヘタリト云 綿打谷戸 北ノ方
ナリ 八幡原 東北ノ
方ナリ 大道

村ノ中

用水谷間ヨリ出ル清水ヲ引用ユル
 藏王權現社ニシテ丘上ニ建リ青蓮寺ノ四方南向
 六天ヲ祭ルニ前ニ鳥居ヲ立テ石階ヲ
 登ルコトニ級同ノ持ナリ
 ○杉山社宇具第六天ヲ相殿トス前ニ鳥居ヲ立テ是
 モ同シ
 ○山王社宇具祠ナリ土人此邊ヲ山王ト呼レル
 間四方南向ニ立テ青蓮寺ノ持ナリ
 立村ノ鎮守ニシテ祭九月十六日青蓮東泉ノ二寺ノ持ナリ
 瀧寺ノ持ナリ
 ○稻荷社九勸請ノ年代等ハスヘテツタヘス村民ノ持
 社小祠ヲ建リ是モ村民ノ持
 青蓮寺ノ村ノ中央ニ古義眞言宗嶋山村三會寺末照光山平本院ト號ス開基ハ村
 云故ニ六間ニ法號トシ先祖ノ院號ニモ用ヒシト開山ノ僧及ヒ年歴ヲ傳ヘト
 本堂六間ニ四半東向本尊ハ昔ハ大日ナリ其後如意輪觀音ト坐像ニテ長五寸許ナリシ
 ルチ本尊トセリカ盗ノメニ失ヒシハ奇異ノコトトモアリ何人カ持來テ當寺
 へ返セリト云此大日ノ作ト知ラスイ
 ○東泉寺村ノ北ノ方ニ坐像ニテ長九寸許ナリ
 永年山中ニ繼圓ト示寂セシ年代ハ其傳ヘテ失ヒタレト第五世ノ住僧長九寸許ナリ
 薩ノ作トイハ開出ノ時代モ舊キコト知ヘシ本尊藥師ト立像ニテ長一尺七寸許
 彌陀堂ナル綿打谷戸ニアリ本尊ハ木ノ立像ニシテ長一尺七寸許

舊家百姓喜兵衛氏ヲ平本ト云先祖ハ北條家ニ仕ヘシト云傳フレトモサセル舊記
 形ナレトモイカニモ艶シキ彩色ノ櫛古色ナリ其傳來ハ台徳院殿關ケ原御陣ノ時
 御守本尊トシテ御懷中アリシヲ御一統ノ後大猷院殿ヨリ具田氏へ賜ハリ其後家
 臣望月主水ト云モノニ譲リ夫ヨリ主水亦喜兵衛カ先祖某ヘアタヘシトナリ此主
 水ハ仕カヘシテ後出家トイハシテ亦喜兵衛カ先祖某ヘアタヘシトナリ此主
 願野山ノ寺務誓願寺ニ住セリ

和田村

和田村ハ郡ノ南ニシテ江戸日本橋ヨリノ行程八里郷名ハ傳ヘス榛谷庄ニ屬セリ東
 西北ノ三方ハ帷子町ニ境ヒ南ノ一方ハ佛向下星川ノ二村ニ隣リ東西七町南北へ三
 町ニアマレリ民戸十六軒多クハ村ノ北ノ邊ニ居テ結ヘリ南方ニ相州道アリ佛向村
 ヨリ入り帷子町へ通セリ此道村内ヲ通スルコト四百間餘地形ハ大抵平カニシテ水
 田多ク陸田少シ土性ハ眞土ナレト南方帷子川ニシヒシアタリハ砂土モ交レリ此川
 ノ水溢ル、時ハ水損ノ患アリ此方ノ山ハ都筑郡ノ山々ニ續キタレハ猪鹿出テ田畑
 ナアラセリ元祿八年安藤對馬守檢地シ夫ヨリ後明和七年新田ノ處ヲハ伊奈半左衛
 門檢地セリ此村古ノコトハ詳ニセス御入國ノ後御料所トナリ伊奈半十郎家ニテ世
 々預リ奉リ其後田中休藏等ノ支配所トナリシニ夫モ替リテ今ハ大貫次右衛門カ支
 配所トナレリ

高札場村ノ北

小名 小關村ノ東 原村ノ中央 竹ノ後村ノ西 宮前是モ西

帷子川村ノ南境ヲ又東ノ方 帷子町内ヘ至レリ 川幅凡七八間 ○用水堀村ノ中央ニ

町半

杉山社村ノ西ヨリ 三間四方東ニ向フ 神體ハ本地ニ不動ノ坐像ヲ安セリ 長五寸前ニ木ノ鳥居
テ立祭禮ハ年コトニ六月九月ノ 香象院ノモテ ○山王社村ノ北真福寺ノ東ナリ
移シ祭レリ 稻荷社ノ此ニ社ヲ相殿トセシ 年代ヲ傳ヘス 社ハ二間半ニ 二間前ニ木ノ
ハ東北ノ方ニアリ 此ニ社ヲ相殿トセシ年代ヲ傳ヘス 社ハ二間半ニ 二間前ニ木ノ
内真福寺ノ持 真福寺村ノ北ニ 古義真言宗久長岐郡太田村東福寺ノ末大照山ト號ス 開山詳
向本尊不動立像一尺 八寸ナルヲ安セリ

坂本村

坂本村ハ郡ノ南ニアリ江戶日本橋ヲ距ルコト八里爰モ榛谷庄ニ屬セリ東ノ方ヨリ
北ヘカ、リテ帷子川ヲ隔テ都筑郡上星川村ニ鄰リ、其中北ノ方ニハ同郡川島村カ、
リ西南ヨリ東ノ端ヘハ又佛向村ナリ民家十二軒東西二町南北ハ四町ニアマレリ地
形多クハ平カナレハ水田陸田等分ニテ用水ハ村内谷間ニ涌出セル清水ヲ用ユ西ノ

方ニハ小山アリ又東北ノ方ニ一條ノ路ヲ開ケリ是ヲ八王子道ト云此道東鄰佛向村
ヨリ入り川島村ニ通セリ元祿八年安藤對馬守檢地シ夫ヨリ後新田ヲハ明和七年伊
奈半左衛門ノ檢地セシコトアリ此村御入國ヨリ後ハ御料所ナリ伊奈半十郎カ家ニ
テ代々支配セリ中頃ハ田中休愚右衛門及ヒ其子休藏等續テ支配セシニ元文五年又
伊奈半左衛門支配所トナレリソレモカハリテ今ハ大貫次右衛門支配所トナレリ

高札場小名前耕

小名 前耕地村ノ南ノ 小谷村ノ中央 大谷村ノ西

帷子川村ノ東北 都筑郡上星川村ト當村トノ間ヲ通セリ川島村ヨリ流レ來
堀佛向ノ下 星川神戶三村ノ用水トナレトモ水利ノ便宜シカラサレハ此村ノ用トハ
ナラスカノ分水口ノ 穢破
藏王權現社村ノ北ニ 鳥居アリハツカナル社ナリ上屋ハ三間ニ二間東向ニテ
藥師堂村ノ北ニ 鳥居アリ二間半ニ四間東向本尊藥師ノ立像長三寸境内ニ元祿九丙子
云

佛向村

佛向村ハ郡ノ南ニシテ保土谷宿ノ西北ニアタレリ江戶日本橋ヨリ八里ノ行程ナリ

榛谷庄御厨郷ナリ村名ノ起リハ昔村内正福寺ノ先住堯室初テ北條家へ謁セシトキ願ヒアラハ申スヘシトアリケルニ出家ノ身ハ他ノ志願ナシ唯常ニ佛ニ向フコソ桑門ノ本意トスル所ナレハ寺ノ山號及ヒ其村里ニモ佛向ノ二字ヲモテ名ツケ賜ハルヘシトノ願ヒニヨリ領掌アリテカク名ツケラレシトツ其時免許ノ下文ニ例ノ虎ノ印判ヲ押セシモノアリシカト今ハ失セリトイヘリサレト小田原所領役帳ニ小机ノ内佛餉二十三貫百二十四文向山トアリ此頃ハ向山トイヒシ人ノ領セシ所ニテ文字モ古クハ佛餉トカキタルト見ニ家數五十八軒長ハ帷子町及ヒ和田村ニ隣リテ帷子川ヲ界トス巽ハ下星川村ニサカヒ坤ハ神戸町ニ接シ乾ノ方ハ都筑郡ノ内今井市ノ澤川島ノ三村ニ隣ル北ノ隅ノ方ヘハツカニ坂本村ノ地サシ入りタリ村ノカタチ大抵菱ノ如クニシテ東ノ角ヨリ西ノ角マテ十五丁南ノ角ヨリ北ノ角マテ九町餘ナリ惣テ南ノ方ハ小山連リテ土地高ク北ノ方ハ自ラ低シ川ノ岸ニツヒテ水田アリ又谷ノ間ニモスコシ許ノ水田アリ土性ハ黒土又ハ川ニ縁リタル所ハ砂交ハレリ檢地ハ元祿八年安藤對馬守承リテ糺セリ其後ニモ新田出來シテヨリ明和七年伊奈半左衛門忠敬寛政元年伊奈攝津守忠郁同シク九年久世丹後守廣民等其支配セル度コトニ檢地セリ村内ニ海道二條アリ其一ハ東ノ方和田村ヨリ入テ村内ヲ經ルコト五町許

ニシテ北ノ方坂本村へ達ス道幅一間半ニアマレリ是ヲ八王子往還ト號ス一ハ相州往還ト呼フ南ノ方下星川村ヨリ入テ十丁許ニシテ都筑郡今井村ニイル道ノ幅一間餘ナリ當村ハ北條家分國ノ頃南ノ方今ノ元佛向トイフ所ニ百姓等住シテ其邊ヲ耕シケルニ年貢ノ高免ニシテ且夫役ノシハクナルニ苦シミシカハ一旦離散シテ荒野トナリシカ御入國ノ後再ヒ歸住シテ漸ク水陸ノ田ヲ開キ終ニ村落ヲナセリト云其頃ヨリ御料所ニシテ伊奈半十郎忠治カ家ニテ支配セシカ享保十六年ニ田中休藏嘉乘カ支配所トナリ元文五年再ヒ伊奈半左衛門カ御預カリトナレリ夫ヨリ後子孫左近將監忠郁カ時ニ至テ職ヲ奪ハレ久世丹後守廣民代リシカ再ヒ大貫次右衛門光豐是ニカハレリ

高札場 村ノ東八王子往還ノ傍ニアリ

- 小名 稻荷ノ上 村ノ中央
- 神木廻リ 村ノ南
- 兵庫谷 村ノ南ニアリ相傳フ金子開キテ住セシ故今ニ此名アリトサレト其子孫モ
- 元佛向 是モ南ノ方ナリ北條ノ頃農民ノ居タエテ後年久シケレハ其事跡ハ傳ハラスト云
- 村ナ 神木前畑 村ノ方ナリ
- 西谷 同邊
- 猪久保谷 是モ同邊ナリ
- 上原 是モ南
- 向原 是モ
- 同 外野谷 村ノ西
- 行坐谷 是モ西ノ方ナリ
- 矢シ塚 村ノ西
- 大久保 是モ西ノ方ナリ
- 北 上
- 東ノ方 的場 是モ東ノ方ナリ
- 前耕地 是モ東ノ方ナリ
- 内田耕地 同邊
- 砂子田耕地 北ノ方ナリ

新編武藏風土記稿卷之六十八終

帷子川村ノ北ノ方坂本村ヨリ流レ來リ北ノ村境ヲ經ルコト凡四町○用水堀ハ坂源
 本村ノ内ニテ帷子川ヲ引ツカチ村ノ北ノ境ヨリ入ル
 杉山社ニ村ノ民ニテ前ニ木ノ鳥居ヲ立共ニ東向ナリ岩間町圓福寺持
 ○稻荷社村ノ
 一問四方ノ鳥居ヲ立當社ノ古木繁茂セリ是モ圓福寺持
 ○山王社村ノ坤ノ方ニ
 本地佛ハ藥師ナリ正福院持 ○神明社村ノ北ニ圍六七尺ノ楠アリ古キ社ナルコト知
 正福院北條家ヨリテアリ曹洞宗小机村雲松院未佛向山ト號ス前ニイヘル如ク
 寂ス初ハ開山ノ諱ヲ用ヒテ榮叟寺トイヒシカ先住明王宗鑑中興ノ時今ノ院號ニ
 アラタメシトッ宗鑑ハ寛文元年四月二十日寂ス本尊如意輪觀音坐像ニシテ長
 テ一尺五寸行基菩薩ノ作ナリ又藥師ノ立像アリ是ハ惠心僧都ノ作ナリ長一尺二寸村
 ノ内山王ノ本地佛ナリ客殿ニ安置セリ又藥師ノ立像アリ是ハ惠心僧都ノ作ナリ長一尺二寸村
 ノ前ニ石階アリ客殿ニ安置セリ又藥師ノ立像アリ是ハ惠心僧都ノ作ナリ長一尺二寸村

新編武藏風土記稿卷之六十八終

明治十七年四月十六日出版版權屆 壹帙四册 定價金壹圓

內務省地理局出版

發兌人

東京府平民 近藤圭造
 深川區富岡門前町 七十番地
 埼玉縣平民 根岸武香
 武藏國大里郡曹山村 壹番地

